



プログラム

会期 2007年9月14日(金)～17日(月・祝)
会場 東京農工大学農学部
事務局 東京農工大学農学部野生動物保護学研究室内
電話・ファックス 042-367-5738
E-mail: mam2007@cc.tuat.ac.jp
大会HP <http://www.mammalogy.jp/msj2007/>

日本哺乳類学会2007年度大会 日程表

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
9月14日(金)					外来動物対策 作業部会	クマ保護管理 検討作業部会	保護管理専門 委員会			評議員会				
									和文誌 編集委員会					
					デジタル 情報委員会	種名・標本 検討委員会	英文誌 編集委員会				F3: 森林に棲むコウモリ類 のねぐら調査の可能性			
					レッドデータ 作業部会	シカ保護管理 検討作業部会		F1: 家畜の種名とは			F2: 有害駆除(捕獲)で何が 起こったか~カモシカ編~			
					選考委員会	国際交流 専門委員会					F4: 「オオカミを放つ」日本オ オカミ協会自由集会			
				クローク (11:30~18:00)										

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
9月15日(土)	A		口頭発表 (15A1~15A6)			F8: ニホンザルの生息環境 の確保と森林施業		F9: ニホンザル個体 群管理の課題		F10: 若手研究者は見た! ニホンザルの群れ管理				
	B		口頭発表 (15B1~15B8)			F11: 西中国山地のツキノ グマの生息実態把握の現 状と課題		F12: クマの生息密度推定 法としてのヘア・トラップ法		F13: クマ類の保護管理に 関するモニタリングの現状 と課題				
	C					F5: 島嶼における外来ネズ ミ類のEradication		F6: 海棲哺乳類ストランデ ィングの現場と研究		F7: 特定外来生物「マン グース防除事業」を考える				
	D					F14: かたちの学校 12		F15: “北海道から見 たブラキストン線”		F16: 増補版食虫類 の自然史7				
	E					F17: 哺乳類の食べもの: 食 性研究の「次の一手」		F18: ワイルドライフ イメージング研究会		F19: イタチ科動物研究の最 前線と課題				
	P		ポスター	コアタイム				ポスター						
	F		クローク (9:30~18:00)											

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
9月16日(日)	A	口頭発表 (16A1~16A11)												
	B	口頭発表 (16B1~16B12)				総会: 12:45~ 14:15		公開シンポジウム: 14:30~						
	P	ポスター	コアタイム					ポスター						
	懇											懇親会		
	F		クローク (8:30~18:30)											

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
9月17日 (月・祝)	A	口頭発表 (17A1~17A12)												
	B	口頭発表 (17B1~17B10)												
	P	ポスター	撤去											
	F	クローク (8:30~12:30)												

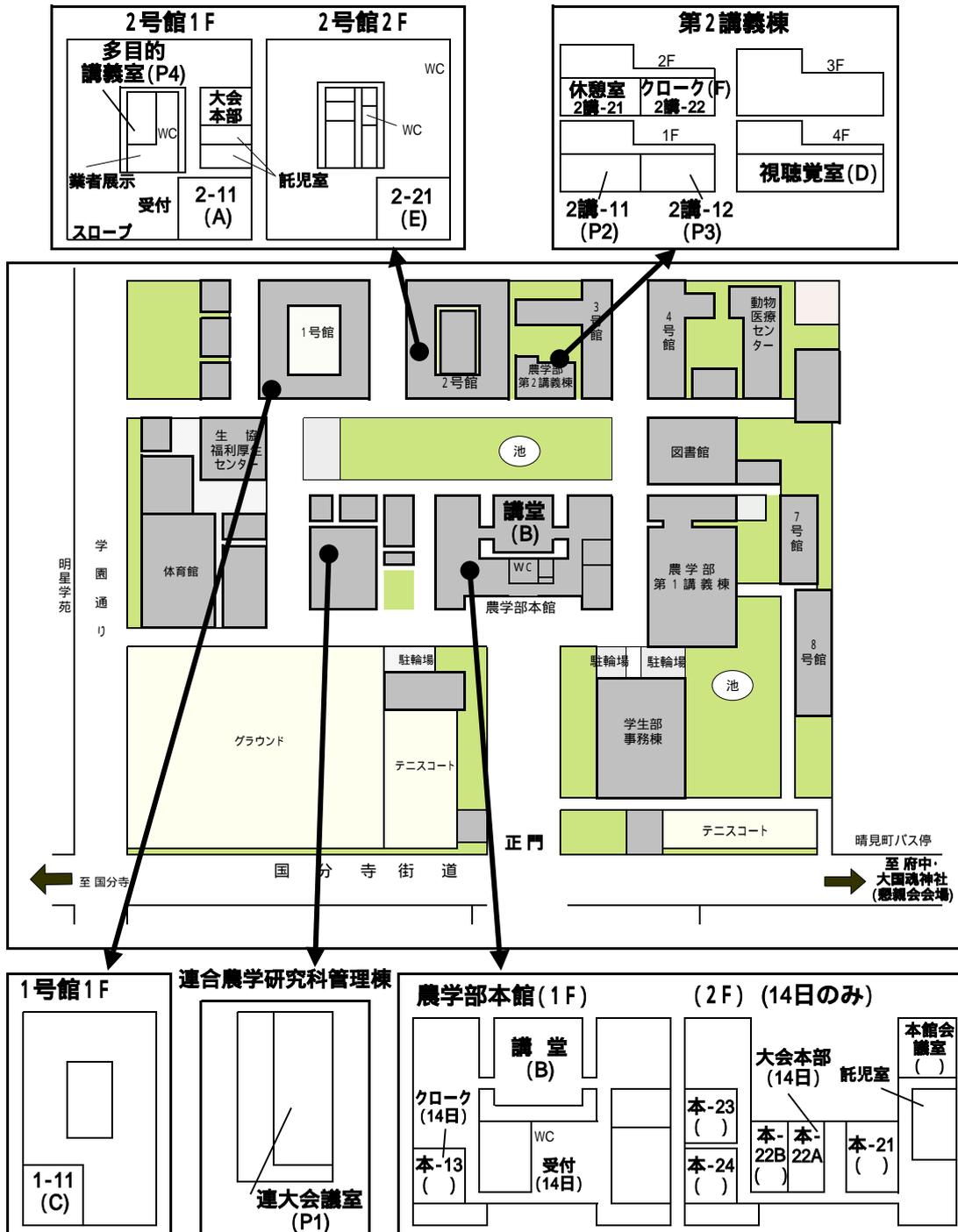
14日の会場

: 本館 - 21 : 本館 - 22B : 本館 - 24 大会本部 : 本館 - 22A
 : 本館2F会議室 : 本館 - 23 (クローク) : 本館 - 13 託児室 : 本館応接室(2F)

15~17日の会場

A : 2号館2 - 11(1F) P(P1) : 連大会議室(4F) (P1~P44)
 B : 本館講堂(1F) (P2) : 第2講義棟 - 11(1F) (P45~P74)
 C : 1号館1 - 11(1F) (P3) : 第2講義棟 - 12(1F) (P75~P104)
 D : 第2講義棟視聴覚室(4F) (P4) : 2号館多目的講義室(1F) (P105~P134)
 E : 2号館2 - 21(2F)
 F(クローク) : 第2講義棟 - 22(2F) 懇 : 懇親会会場(大国魂神社)
 休憩室 : 第2講義棟 - 21(2F) 業者展示 : 2号館1Fホール
 託児室 : 2号館2 - 12, 13(1F) 大会本部 : 2号館2 - 14(1F)

キャンパスマップ(会場案内)



大会参加者へのご案内

1. 会場および受付

- a. 9月14日は11:30より本館1F正面入り口、15~17日は8:30から2号館1F正面入り口にて登録受付を行います。参加申し込み済みの方は、講演要旨集・名札などをお受け取り下さい。当日申し込みの方は、参加費等をお支払い下さい。
- b. 大会会場では必ず名札をご着用下さい。着用のない場合はスタッフが確認させていただくこともあります。懇親会参加者の名札には参加マークがつけてありますので、懇親会会場でも忘れずに着用してください。
- c. クロークは、9月14日は本館-13教室、15~17日は第2講義棟-22教室に設置します。9月14日は11:30より、15日は9:30より、16~17日は8:30より受け付け、9月14、15日は18:00に、16日は18:30に、17日は12:30に閉鎖します。

2. 口頭発表される方へ

- a. 一般講演の発表時間は質疑応答を含めて14分30秒です。時間の延長は一切認めません。各演者は講演開始前に会場に待機下さい。自由集会の発表時間は世話人の指示に従ってください。
- b. 各演者は次演題の座長を務めていただきます。講演終了後、座長席に着いて、速やかに会を進行させてください。なお、最初の演題は、大会会場係がつとめます。
- c. 当日の発表用パワーポイント・ファイルの差し替え、修正はできません。また、持ち込みノートパソコンとの接続はお断りします。
- d. 会場では液晶プロジェクターおよびOHPが使用できますが、スクリーンは1つですので、同時に2つの機器は使用できません。

3. ポスター発表される方へ

- a. 大会期間中にポスターの差し替えはありません。各発表者につき、縦180cm、横120cmの展示パネルを準備します。各ポスター会場(P)には、ポスター貼付に必要な画鋏と演題番号を事務局で準備します。
- b. 掲示作業は9月15日9:00から11:00の間に実施してください。撤去は9月17日12:00~13:00に行ってください。
- c. 9月15日11:30~13:30、9月16日11:30~12:45に、ポスター発表の集中時間帯を設けています。ポスター発表者はこの時間帯は、常時待機してください。
- d. 最上段に発表演題・発表者氏名と所属を横書きして下さい。発表者の顔写真をなるべく入れてください。

- e. 標本・別刷・資料・宣伝物などをポスターの前に置く台（椅子など）を希望される方は、会場係まで申し出てください。
- f. ポスター賞に応募したポスターの中で優れたポスターには、日本哺乳類学会よりポスター賞が贈られます。ポスター賞に応募したポスターは、プログラムの題名の前に#がついています。ポスター賞の審査は、哺乳類学会が指名した審査員が行います。ポスター賞受賞者は、9月16日の懇親会会場で発表を行います。

4. 各種委員会に参加される方へ

各種委員会は下記の時間で、すべて9月14日（金）に行います。

外来動物対策作業部会	12：00～13：30	会場
デジタル情報委員会	12：00～13：30	会場
レッドデータ作業部会	12：00～13：30	会場
選考委員会	12：00～13：30	会場
クマ保護管理検討作業部会	13：30～15：00	会場
種名・標本検討委員会	13：30～15：00	会場
シカ保護管理検討作業部会	13：30～15：00	会場
国際交流専門委員会	13：30～15：00	会場
保護管理専門委員会	15：00～16：30	会場
和文誌編集委員会	15：00～16：30	会場
英文誌編集委員会	15：00～16：30	会場
評議員会	17：00～20：00	会場

5. 懇親会に参加される方へ

- a. 9月16日（日）19：00～21：00に大国魂神社結婚式場（府中駅から南方向徒歩5分）（府中市宮町3-1）で開催します。

6. エクスカーションに参加される方へ

大会HPに掲載されているエクスカーション情報に従って手続きをお願いします

7. アクセス

キャンパス内の駐車スペースは限られていますので、できるだけ公共交通機関をご利用下さい。

8. 託児室

業者委託による託児室を開設します。利用は予約制で、予約のない時間帯は閉鎖します。当日、お子様が病気の場合は、原則としてお預かりできません。予約された方でキャンセル

ルされる場合は、早目に大会事務局へ連絡ください。予約なしでの当日の利用は、保育担当者には余裕がない場合はお受けできません。

9. その他

- a. 総会は9月16日午後に農学部本館講堂で開催します。その後、同会場で公開シンポジウムを開催します。
- b. 学内には持ち込みパソコンから学内LANに接続できる場所はありません。
- c. 学内は全館禁煙です。
- d. 期間中、学内の食堂は営業しておりません。また、学外の食堂まで距離があり、十分な数ではありません。**昼食は各自ご用意下さい。**なお、9月15、16日は昼食時に弁当の販売を予定しています。15日分は、14日の13:00までに、16日分は、15日の13:00までに、受付へお申し込み下さい。なお、14日は弁当の販売を予定していませんので、各自ご用意下さい。
- e. ご不明な点は、大会開始前は大会事務局へ、大会期間中は大会本部、受付またはお近くの会場係にお尋ね下さい。
- f. 自由集会は自主運営になりますので、世話人の方を中心に機材の持ち込み(プロジェクターは用意してあります)・準備、会場の準備、進行、機材操作および後片付けをしてください。
- g. 会場での呼び出しはできませんので、休憩室に設置された伝言板をご利用下さい。
- i. 資源節約のため、休憩室の紙コップは名前を書いて繰り返し利用されるか、できればコップをご持参下さい。
- j. 大会期間中に、下記の大会記念グッズの販売を行う予定ですので、ご利用下さい。

2007年度大会記念Tシャツ



各種サイズ、カラーを揃える予定です。

参加の記念に、ご購入下さい。

数量限定です！！

(若干のデザインの変更はあります。)

12:45～14:15 **総会**

14:30～18:00 **公開シンポジウム**

「飼育・実験下での成果とフィールドワークをつなぐ哺乳類研究」

- S1 **サル地域個体群の保全・管理にむけた遺伝的モニタリング**
京都大学霊長類研究所 川本 芳

- S2 **堅果とアカネズミとの関係**
森林総合研究所東北支所 島田卓哉

- S3 **飼育個体の観察から何がわかるか？：
サル、イルカ、マメジカ、サイの事例から**
東京工業大学 幸島司郎

- S4 **汚染物質の生態評価、野生動物に対する影響解明への適応の試み**
東京農工大学 渡邊 泉

自由集会

9月14日(金)

会場

- 15:30 ~ 17:30 F1 家畜の種名とは
世話人: 織田銑一(名古屋大学大学院)
- 18:00 ~ 20:00 F2 有害駆除(捕獲)で何が起こったか ~ カモシカ編 ~
世話人: 東英生¹, 柳原千穂²(山形の野生動物を考える会¹, 岩手カモシカの会²)

会場

- 18:00 ~ 20:00 F3 森林に棲むコウモリ類のねぐら調査の可能性
世話人: 河合久仁子(北大低温研)

会場

- 18:00 ~ 20:00 F4 「オオカミを放つ」日本オオカミ協会(JWA)自由集会
世話人: 井上剛¹, 須田知樹²(日本オオカミ協会・野外科学¹, 立正大学²)

自由集会

9月15日(土)

C会場

- 13:00 ~ 15:00 F5 島嶼における外来ネズミ類のEradication 小笠原西島におけるクマネズミ根絶事業からの報告
世話人: 橋本琢磨¹, 矢部辰男²((財)自然環境研究センター¹, ラットコントロールコンサルティング²)
- 15:30 ~ 17:30 F6 海棲哺乳類ストランディング(座礁・漂着・迷入・混獲)の現場と研究
世話人: 三谷曜子¹, 小林由美²(東工大¹, 北大水産²)
- 18:00 ~ 20:00 F7 特定外来生物「マングース防除事業」を考える
世話人: 山田文雄¹, 石井信夫²(森林総合研究所¹, 東京女子大²)

A会場

- 13:00 ~ 15:00 F8 ニホンザルの生息環境の確保と森林施業
世話人: 和田一雄(京都大学霊長類研究所共同利用研究員)
- 15:30 ~ 17:30 F9 ニホンザル個体群管理の課題
世話人: 常田邦彦¹, 渡邊邦夫²((財)自然環境研究センター¹, 京都大学霊長類研究所²)
- 18:00 ~ 20:00 F10 若手研究者は見た! ニホンザルの群れ管理 現場では「農家とおさると時々ぼくら」
世話人: 鈴木克哉¹, 山田彩¹, 宇野壮春²(京大霊長研¹, (合)宮城・野生動物保護管理センター²)

B会場

- 13:00 ~ 15:00 F11 西中国山地のツキノワグマの生息実態把握の現状と課題
世話人:大井徹¹,金森弘樹²,田戸裕之³,藤井猛⁴,黒崎敏文⁵,(森林総合研究所関西支所¹,島根県中山間地研究センター²,山口県林業指導センター³,広島県⁴,自然環境研究センター⁵)
- 15:30 ~ 17:30 F12 クマの生息密度推定法としてのヘア・トラップ法 ~ 現状と課題
世話人:釣賀一二三¹,森光由樹²,山内貴義³(北海道環境科学研究センター¹,兵庫県立大学²,岩手県環境保健研究センター³)
- 18:00 ~ 20:00 F13 クマ類の保護管理に関するモニタリングの現状と課題
世話人:間野勉¹,大井徹²,横山真弓³,山崎晃司⁴,釣賀一二三¹,高柳敦⁵,山中正実⁶(北海道環境科学研究センター¹,森林総合研究所関西支所²,兵庫県立大学/森林動物研究センター³,茨城県自然博物館⁴,京都大学⁵,知床財団⁶)

D会場

- 13:00 ~ 15:00 F14 かたちの学校12
世話人:遠藤秀紀(京都大学霊長類研究所)
- 15:30 ~ 17:30 F15 ワークショップ“北海道から見たブラキストン線”
世話人:増田隆一(北大・創成研)
- 18:00 ~ 20:00 F16 増補版食虫類の自然史7.カワネズミの生態と保全 最近の知見
世話人:横畑泰志¹,川田伸一郎²(富山大院¹,国立科学博物館²)

E会場

- 13:00 ~ 15:00 F17 哺乳類の食べもの:食性研究の「次の一手」
世話人:高槻成紀(麻布大学)
- 15:30 ~ 17:30 F18 ワイルドライフイメージング研究会
世話人:安田雅俊(森林総合研究所九州支所)
- 18:00 ~ 20:00 F19 イタチ科動物研究の最前線と課題
世話人:金子弥生(ヤマザキ動物看護短期大学)

A会場

- 10:00 15A1 **加速度記録計を用いた雌のナンキョクオットセイの潜水行動に関する研究**
*岩田高志¹, Sarah ROBINSON², Phil TRATHAN², 高橋晃周^{1,3}(総合研究大学院大学¹, British Antarctic Survey², 国立極地研究所³)
- 10:15 15A2 **瀬戸内海および隣接海域に生息するスナメリの食性に関する研究**
*鈴木夕紀¹, 石橋敏章², 高田浩二², 田中平², 山田格³, 谷内透¹(日本大学¹, 瀬戸内海西方海域スナメリ協議会², 国立科学博物館³)
- 10:30 15A3 **コロブス類における頭骨形態変異と食性適応**
*小薮大輔¹, 遠藤秀紀²(京大・院理・生物/霊長研¹, 京大・霊長研²)
- 10:45 15A4 **たのしい標本学習～大学による教育支援の試み**
*斉藤千映美, 桔梗佑子, 鶴川義弘(宮城教育大学)
- 11:00 15A5 **実験用食虫類スルクス *Suncus murinus* の休眠誘導因子**
*増田洋志¹, 豊福祐史¹, 高橋俊浩², 森田哲夫², 織田銃一³(宮崎大・院・農¹, 宮崎大・農², 名大・院・生命農³)
- 11:15 15A6 **知床のヒグマに装着したLotek GPS首輪の耐久性**
*小平真佐夫, 中西将尚, 岡田秀明, 山中正実((財)知床財団)

B会場

- 10:00 15B1 **自動撮影カメラによる中型食肉目の個体識別の試み**
*田中浩¹, 衣笠淳²(山口県立山口博物館¹, (株)地域環境計画²)
- 10:15 15B2 **九州で絶滅危惧のニホンリスを探す—どこでどのように?—**
*安田雅俊¹, 片岡友美²(森林総研九州¹, リスムササビネットワーク・NPO法人生態工房²)
- 10:30 15B3 **札幌市における都市ギツネの個体群動態と疥癬**
*浦口宏二, 高橋健一(道立衛生研究所)
- 10:45 15B4 **アナグマ (*Meles meles*) 高密度地域における巣穴温度の多様性と繁殖成功**
*金子弥生^{1,2}, C. ニューマン², C. ブーシン², D. W. マクドナルド²(ヤマザキ動物看護短期大学¹, オックスフォード大学²)
- 11:00 15B5 **山梨県富士北麓及び栃木県高原におけるラジオテレメトリーデータから推定されたテンの森林選好性**
*中村俊彦¹, 倉島治², 佐藤伸彦³(東京都レンジャー¹, 東京大学大学院², 日本生態系協会³)

口頭発表

9月15日(土)

B会場

- 11:15 15B6 **奄美大島の侵略的外来種ジャワマンゲースと生態系管理**
*石田健¹, 前園泰徳^{2,3}, 宮下直¹, 巨悠哉¹(東京大学¹, 九州大学², 京都大学³)
- 11:30 15B7 **兵庫県における外来生物ヌートリアの繁殖特性**
*江草佐和子, 坂田宏志(兵庫県森林動物研究センター)
- 11:45 15B8 **果樹園における多獣種被害とその防護(ハクビシンを中心に)**
*竹内正彦¹, 宮本大右², 宮内福雄², 古川真理², 谷地森秀二³, 金城芳典³, 上田弘則⁴(中央農業総合研究センター鳥獣害研究サブチーム¹, ネイチャー企画², 四国自然史科学センター³, 近畿中国四国農業研究センター鳥獣害研究チーム⁴)

口頭発表

9月16日(日)

A会場

- 9:00 16A1 **北海道東部「パイロット・フォレスト」のコウモリ相**
*近藤憲久¹, 佐々木尚子²(根室市歴史と自然の資料館¹, 北海道コウモリ研究グループ²)
- 9:15 16A2 **アブラコウモリ *Pipistrellus abramus* の動物地理**
*河合久仁子¹, Echenique-Diaz, L.M.², 福井大³, Armstrong, K.⁴, Tsytsulina, K.⁵(北大低温研¹, 東北大生命科学², 森林総研北海道支所³, Molhar Pty Ltd⁴, Russian Bat Research Group⁵)
- 9:30 16A3 **The conservation of microbats in the Ryukyu archipelago**
*Lázaro M. Echenique-Diaz¹, Kuniko Kawai², Kyle N. Armstrong³, Masakado Kawata¹(Graduate School of Environmental Life Sciences, Tohoku University¹, Institute of Low Temperature Science, Hokkaido University², Murdoch University, Western Australia³)
- 9:45 16A4 **アブラコウモリ *Pipistrellus abramus* におけるナイトルーストの利用**
*船越公威, 片平理絵, 池田宏美, 山下啓(鹿児島国際大学・国際文化・生物)
- 10:00 16A5 **コウベモグラはどこで何を食べるのか?**
*樫村敦¹, 茂木邦人², 篠原明男³, 土屋公幸⁴, 高橋俊浩⁵, 森田哲夫⁵(宮崎大・院・農工¹, 宮崎大・院・農², 宮崎大・フロンティア科学実験総合センター³, (株)応用生物⁴, 宮崎大・農⁵)
- 10:15 16A6 **飼育下のアズマモグラにおける先住効果の検出**
大谷恵¹, 中井真理子¹, 後藤裕子¹, 瀧絵美子¹, *横畑泰志²(富山大¹, 富山大院²)

A会場

- 10:30 16A7 **側溝への小型哺乳類の落下(死亡)の季節性**
*高中健一郎, 安藤元一, 小川博, 土屋公幸, 吉行瑞子, 天野卓(東京農大・農・野生動物)
- 10:45 16A8 **環境汚染の遺伝的影響評価におけるアカネズミ(*Apodemus speciosus*)の有用性**
*京谷恭弘¹, 小原良孝², 関島恒夫³(弘前大学・院・農生命研(現:クミアイ化学工業株式会社)¹, 弘前大・院・農生命研², 新潟大・院・自然研³)
- 11:00 16A9 **丹沢山塊におけるカワネズミの棲息環境について**
岩佐真宏(日本大学生物資源科学部)
- 11:15 16A10 **トゲネズミ属3種の捕獲調査**
*山田文雄¹, 橋本琢磨², 阿部慎太郎³, 永井弓子³, 小高信彦¹, 七里浩志⁴(森林総研¹, 自然環境研究センター², 奄美野生生物保護センター³, やんばる野生生物保護センター⁴)
- 11:30 16A11 **エゾヤチネズミにおける複数オス交配の頻度に関する局所オス密度の影響**
石橋靖幸¹, *齊藤 隆²(森林総合研究所北海道支所¹, 北海道大学フィールド科学センター²)

B会場

- 9:00 16B1 **染色体からみたニホンジカの地理的変異**
*原田正史¹, 安藤彰朗², 鳥居春己³, 立澤史郎⁴, 伊吾田宏正⁵, 細井栄嗣⁶, 金森弘樹⁷, 池田浩一⁸, 川井裕史⁹, 末次加代子¹⁰(大阪市大・医¹, 島根県立大・短大部², 奈良教大³, 北大・文・地域システム科学⁴, 酪農学園大・環境システム⁵, 山口大・農・生物資源⁶, 島根中山間セ⁷, 福岡県森林林業技術センター⁸, 大阪府立みどりの総合センター⁹, 神奈川県自然環境保全センター¹⁰)
- 9:15 16B2 **伊豆半島のニホンジカの食性の標高にともなう変異**
北村友子¹, *高槻成紀², 佐藤喜和¹(日本大学・生物資源科学¹, 麻布大学・野生動物学²)
- 9:30 16B3 **飼育飼料の変化がニホンジカ(*Cervus nippon*)の採食様式に与える影響**
*及川真里亜¹, 古林賢恒¹, 吉田洋²(農工大院¹, 山梨県環境科学研究所²)
- 9:45 16B4 **エゾシカ個体群の密度指標としての植生指数の評価**
*宇野裕之, 釣賀一二三, 富沢昌章, 清野未希(北海道環境科学センター)
- 10:00 16B5 **秦嶺山系のシセンキンシコウの交尾行動**
*和田一雄(京都大学霊長類研究所共同利用研究員)

口頭発表

9月16日(日)

B会場

- 10:15 16B6 **ヤクシマザルにおけるオスの交尾戦術:交尾パタンの分析から**
*中川尚史¹, 杉浦秀樹², 松原幹², 早川祥子², 藤田志歩³, 鈴木滋⁴, 下岡ゆき子¹, 西川真理¹(京大・理¹, 京大・霊長研², 山口大・農³, 龍谷大・国際文化⁴)
- 10:30 16B7 **タイとベトナムにおけるアカゲザルとカニクイザルの交雑についての比較**
*濱田穰¹, Vo Dinh Son², Tran Huy Vu³, Le Van Hoang³, Nguyen Van Hung³, Nguyen Van The³, Suchinda Malaivijitond⁴, 後藤俊二⁵, 川本芳¹(京都大学霊長類研究所形態進化分野¹, サイゴン動植物保護教², タイ・グウェン大学獣医学部³, チュラロンコーン大学理⁴, 日本野生動物研⁵)
- 10:45 16B8 **堅果類の結実の年次変動がニホンザルの秋の土地利用に与える影響**
*辻大和, 高槻成紀(麻布大・獣医)
- 11:00 16B9 **ニホンザル加害群の農地からの排除方法の検討Ⅱ**
*岡田充弘, 小山泰弘, 山内仁人(長野県林業総合センター)
- 11:15 16B10 **GPS首輪を使ったイノシシ行動圏調査**
*川井裕史, 山田英嗣, 石塚譲, 神山善寛(大阪府環境農林水産総合研究所)
- 11:30 16B11 **農地に隣接して生息するイノシシの環境選択と農地利用パターン**
*横山真弓¹, 木下裕美子², 江藤公俊², 米澤里美², 坂田宏志¹, 常田邦彦³(兵庫県立大学/森林動物研究センター¹, 森林動物研究センター², (財)自然環境研究センター³)
- 11:45 16B12 **寒地型牧草地は冬季にイノシシのえさ場になる**
*上田弘則, 高橋佳孝, 井上雅央(近畿中央四国農業研究センター)

口頭発表

9月17日(月・祝)

A会場

- 9:00 17A1 **新生アジアゾウの上下顎の解剖と歯の形態発生**
*小澤幸重¹, 鈴木久仁博¹, Khongkhunthian², Thitaranm², Somgeird²(日本大学松戸歯学部¹, Chang Mai Univ.²)
- 9:15 17A2 **ハンドウイルカ(*Tursiops*)属鯨類における頭蓋骨の形態学的変異と分類に関する研究**
*栗原望¹, 織田銃一²(名大・院・生命農(現:国立科学博物館)¹, 名大・院・生命農²)

A会場

- 9:30 17A3 **日本沿岸にマストランドしたカズハゴンドウ(*Peponosephala electra*)集団の遺伝的組成**
*早野あずさ¹, 山田格², 倉持利明², 角田恒雄², 天野雅男³, 宮崎信之⁴(京都大学理学研究科¹, 国立科学博物館², 帝京科学大学アニマルサイエンス学科³, 東京大学海洋研究所⁴)
- 9:45 17A4 **ニホンイタチとシベリアイタチの頭骨形態比較**
*鈴木聡¹, 安部みき子², 本川雅治³(京大・院・理¹, 大阪市大・院・医², 京大・総博³)
- 10:00 17A5 **タヌキにおける歯数変異とそれに伴う形態および推定咬合力の個体変異**
*浅原正和¹, 本川雅治²(京都大学理学研究科生物科学専攻動物学教室¹, 京大総合博物館²)
- 10:15 17A6 **アカネズミの頭蓋骨の形態における地理的変異**
*新宅勇太¹, 本川雅治²(京大・院理・動物¹, 京大・総博²)
- 10:30 17A7 **ベトナム中南部のモグラ, *Euroscaptor parvidens*, の分布と形態学的特徴**
*川田伸一郎¹, 篠原明男², Nguyen Truong Son³, Dang Ngoc Can³, 遠藤秀紀⁴(国立科学博物館動物研究部¹, 宮崎大学フロンティア科学実験総合センター², ベトナム科学技術院³, 京都大学霊長類研究所形態進化分野⁴)
- 10:45 17A8 **利用可能な全DNA塩基配列を用いた食肉目イタチ科の亜科分類**
*佐藤淳¹, Mieczysław Wolsan², 細田徹治³, 鈴木仁⁴(福山大・生命工¹, Museum and Institute of Zoology, Polish Academy of Sciences², 和歌山県立耐久高校³, 北大・環境科学⁴)
- 11:00 17A9 **旧世界リス属(*Sciurus*)の分子系統～旧世界リス属3種は単系統であるか?**
*押田龍夫¹, Atilla Arslan², 野田麻衣子¹(帯広畜産大学野生動物管理学的研究室¹, Selcuk University²)
- 11:15 17A10 **ニホンノウサギにみられる冬毛の白化が集団の遺伝的分化に与える影響の検証**
*布目三夫¹, 鳥居春巳², 山田文雄³, 土屋公幸⁴, 鈴木仁¹(北大 院 環境科学¹, 奈良教育大学自然環境教育センター², 森林総合研究所³, (株)応用生物⁴)
- 11:30 17A11 **複数の核遺伝子から見たアカネズミの遺伝的多様性～伊豆諸島集団の遺伝的独自性～**
*友澤森彦¹, 鈴木仁², 土屋公幸³(北大 院 環境科学¹, 北大 院 地球環境², (株)応用生物²)

A会場

- 11:45 17A12 **日本産野生ハツカネズミにおける亜種間組換え体探索と二次的接触の時空間動態把握**
*鈴木仁¹, 布目三夫¹, 土屋公幸², 米川博通³, 森脇和郎⁴(北大 院地球環境¹, (株)応用生物², 理研バイオリソース³, 都臨床医学総合研究所⁴)

B会場

- 9:00 17B1 **プラスグループを用いたコホート解析の陸棲哺乳類への適用**
*上野真由美¹, 松石隆², Erling J. Solberg³, 齊藤隆⁴(北海道大学大学院農学研究科¹, 北海道大学大学院水産科学研究院², ノルウェー国立自然研究所³, 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター⁴)
- 9:15 17B2 **低軌道衛星通信を利用したツキノワグマ位置情報のセミリアルタイム送受信システム**
*山崎晃司¹, 林友直², 横山幸嗣², 細川繁², 小藤幸史³, 木下俊一³, 小坂井千夏⁴, 小池伸介⁴(茨城県自然博物館¹, 千葉工業大学², 武蔵野電機³, 東京農工大学⁴)
- 9:30 17B3 **アクティビティセンサーによるツキノワグマの行動解析**
*小坂井千夏¹, 小池伸介¹, 山崎晃司², 古林賢恒³(東京農工大学院・連合農¹, 茨城県自然博物館², 東京農工大学・農³)
- 9:45 17B4 **岩手県遠野市に生息するツキノワグマを対象にしたヘアートラップ法の検討**
*山内貴義¹, 工藤雅志², 齋藤正恵³, 平野陽¹(岩手県環境保険研究センター¹, 岩手県自然保護課², 岩手大学・連合農学³)
- B会場
- 10:00 17B5 **水晶球にクマの数は映るか？**
*岡輝樹¹, 工藤雅志², 山内貴義³, 平野陽³, 堀野真一⁴, 安藤薫⁵(森林総合研究所¹, 岩手県自然保護課², 岩手県環境保健研究センター³, 森林総研東北⁴, 岩手県森林保全課⁵)
- 10:15 17B6 **ツキノワグマにおけるMHC多型解析**
*安河内彦輝¹, 黒崎敏文², 米田政明², 小池裕子¹(九州大学大学院比較社会文化学府¹, 自然環境研究センター²)
- 10:30 17B7 **ツキノワグマにおける秋期行動の4年間の変化**
*西信介¹, 藤田文子², 山本福嘉²(鳥取県林業試験場¹, 鳥取大学²)
- 10:45 17B8 **2004年秋に大量出沒したツキノワグマの栄養状態と食性履歴**
*大井徹¹, 古澤仁美²(森林総研関西¹, 森林総研²)

口頭発表

9月17日(月・祝)

B会場

- 11:00 17B9 秋田・岩手両県におけるツキノワグマの春季有害駆除数の年変動に影響する要因の解析
*根本唯¹, 星崎和彦², 岡輝樹³(東京農工大学大学院¹, 秋田県立大学², 森林総合研究所³)
- 11:15 17B10 季節別ヒグマ捕獲数の推移とその要因
間野勉(北海道環境科学研究センター)

ポスター発表

9月15日(土)～9月17日(月・祝)

コアタイム:9月15日 11:30～13:30

9月16日 11:30～12:45

P会場(連大会議室)

- P1 **モウコガゼル(*Procapra gutturosa*)の遺伝的多様性**
*岡田あゆみ¹, 伊藤健彦², B. Lhagvasuren³, B. Buuveibaatar³, 進藤順治¹, 恒川篤史²(北里大学¹, 鳥取大学², Mongolian Academy of Sciences³)
- P2 **モンゴル・南東ゴビ地域におけるアジアノロバの捕獲と衛星追跡**
*伊藤健彦¹, B. Chimeddorj², B. Lhagvasuren², C. Walzer³, P. Kaczensky⁴, E. Sos⁵, 恒川篤史¹, 實方剛¹, Y. Adiya²(鳥取大学¹, Mongolian Academy of Sciences², Univ. of Veterinary Medicine Vienna³, Univ. of Freiburg⁴, Budapest Zoo & Botanical Garden⁵)
- P3 **#ボルネオ産サンバー*Cervus unicolor*による塩場利用の季節性と日周性**
*松林尚志¹, Peter Lagen², Jun Rafiah Abd. Sukor³, 北山兼弘⁴(東京農業大学¹, マレーシア・サバ州森林局², サバ州野生生物局³, 京都大学⁴)
- P4 **イノシシとニホンジカの個体群動態の特徴の比較 —森林環境の変動との相互作用を中心に—**
*坂田宏志¹, 藤木大介², 岸本康誉²(兵庫県立大学¹, 兵庫県森林動物研究センター²)
- P5 **特定鳥獣(イノシシ)保護管理計画のモニタリングの一例—島根県における2002～2005年度の出猟記録の分析—**
*金森弘樹, 山川渉, 澤田誠吾, 藤田曜(島根県中山間地域研究センター)
- P6 **東京都におけるイノシシの食性と農作物利用**
*新城七彩¹, 佐藤喜和¹, 神田栄次²(日大・生物資源・森林動物¹, 東京野生動物研究所²)

P会場(連大会議室)

- P7 **#ニホンカモシカ(*Capricornis crispus*)のマイクロサテライトDNA多型解析**
*西村貴志¹, 山内貴義², 出口善隆¹, 松原和衛¹, 青井俊樹¹, 辻本恒徳³(岩手大学大学院連合農学研究科¹, 岩手県環境保健研究センター², 盛岡市動物公園³)
- P8 **#ノウサギとニホンジカの種間関係について**
*木村太一, 小金澤正昭(宇都宮大学農学部)
- P9 **父系遺伝子ZFYに基づくアカシカおよびニホンジカの分子系統地理**
*名畑太智¹, マハムトハリク², 梶光一³, 永田純子⁴, 大泰司紀之⁵, 増田隆一^{1,6}
(北大・院理¹, 中国新疆大², 東農工大³, 森林総研⁴, 北大・総合博⁵, 北大・創成研⁶)
- P10 **景観遺伝学的手法を用いた房総半島におけるシカ個体群構造の解析**
*吉尾政信¹, 浅田正彦², 落合啓二², 宮下直¹, 立田晴記³(東京大学大学院生物多様性¹, 千葉県立中央博物館², 国立環境研究所³)
- P11 **#奈良公園のニホンジカ(*Cervus nippon*)に関する集団遺伝学的特異性**
*村上綾子¹, 玉手英利², 鳥居春己³(山形大院・理工・生物¹, 山形大・理・生物², 奈良教育大・教育³)
- P12 **#食性の異なるニホンジカ集団間での大臼歯咬耗速度の比較**
*尾崎麦野¹, 高槻成紀²(東京大学・理・生物科学¹, 麻布大学・獣医・野生動物学²)
- P13 **#ニホンジカにおける発情確認方法の検討**
*柳川洋二郎¹, 松浦友紀子¹, 鈴木正嗣², 片桐成二¹, 高橋芳幸¹, 佐賀真一³, 奥山英登³, 福井大祐³, 坂東元³, 坪田敏男¹(北海道大学獣医学研究科¹, 岐阜大学応用生物科学部², 旭川市立旭山動物園³)
- P14 **#ニホンジカ(*Cervus nippon*)精巢における性ホルモン調節系に関する免疫組織化学的研究**
*早川大輔^{1,2}, 佐々木基樹^{1,2}, 鈴木正嗣³, 伊吾田宏正⁴, 坪田敏男⁵, 梶光一⁶, 北村延夫^{1,2}(帯広大獣医解剖¹, 岐阜連大院基礎獣医², 岐阜大野生動物³, 酪農大生命環境⁴, 北大院獣医生態⁵, 東京農工大野生動物保護⁶)
- P15 **#餌資源制約下におけるエゾシカの不嗜好植物の利用について**
*山本悠子(東京農工大)
- P16 **ニホンジカの大量死と不嗜好植物の消失**
*高橋裕史¹, 梶光一²(森林総研関西¹, 東京農工大²)

P会場(連大会議室)

- P17 **大台ヶ原におけるニホンジカの胃内容物分析**
*鳥居春巳¹, 鈴木和男², 安藤正規³, 高野彩子¹, 黒崎敏文⁴, 荒木良太⁴(奈良教育大学¹, 田辺市ふるさと自然公園センター², 京都府林業試験場³, 自然環境研究センター⁴)
- P18 **同所的に生息する外来種キョンと在来種ニホンジカの食性・食物成分の比較**
*落合啓二, 浅田正彦(千葉県立中央博物館)
- P19 **ニホンジカのラッティングコールにみられる種内変異について**
*遠藤晃(佐賀大学大学院農学研究科)
- P20 **ニホンジカの雌における複数雄交尾の適応的意義についての検討**
*樋口尚子¹, 大西信正², 幸田正典¹, 南正人²(大阪市大・院・理学研究科¹, NPOピッキオ²)
- P21 **ニホンジカのオスの子供の出生時期が生残, 初期成長に与える影響**
*南正人¹, 大西信正¹, 樋口尚子², 岡田あゆみ³, 高槻成紀⁴(NPO法人ピッキオ¹, 大阪市立大², 北里大³, 麻布大⁴)
- P22 **ニホンジカのメスの子供の出生時期が生残, 初期成長, 生涯繁殖成功に与える影響**
*大西信正¹, 南正人¹, 樋口尚子², 岡田あゆみ³, 高槻成紀⁴(NPO法人ピッキオ¹, 大阪市立大², 北里大³, 麻布大⁴)
- P23 **空間明示モデルによる房総シカ個体群の動態予測と駆除戦略**
*藤田剛¹, 山道真人², 高田まゆら², 鈴木牧¹, 吉尾政信¹, 立田晴記³, 落合啓二⁴, 浅田正彦⁴, 宮下直¹(東大院・農¹, 総研大院², 国立環境研³, 千葉県立中央博⁴)
- P24 **俯瞰撮影写真を用いたニホンジカのDoe-Fawn比と当歳子の死亡率の推定**
*小金澤正昭, 榎木めぐみ(宇都宮大学農学部)
- P25 **京都府内におけるニホンジカ個体群の齢構成と妊娠率について**
*安藤正規¹, 村田良治¹, 河野矢豊¹, 川勝隆之²(京都府林業試験場¹, 京都府中丹振興局農林整備室²)
- P26 ***兵庫県淡路島に生息するニホンジカ地域個体群の質的特徴**
*木下裕美子¹, 横山真弓², 米澤里美¹(兵庫県森林動物研究センター¹, 兵庫県立大学/森林動物研究センター²)

P会場(連大会議室)

- P27 **岩手県五葉山地域における4度目のシカ空中センサス**
*堀野眞一¹, 島田卓哉¹, 岡輝樹², 山内貴義³, 工藤雅志⁴(森林総研・東北¹, 森林総研², 岩手県環境保健研究センター³, 岩手県自然保護課⁴)
- P28 **#森林簿を利用した山林内におけるシカの食物利用可能量の推定**
*山本祐輔, 高柳敦(京大・院・農学研究科)
- P29 **#ヤクシカの餌場としての林道と人工林の評価～食物現存量と食痕数の季節変化から～**
*寺田千里¹, 立澤史郎², 川村貴志³, 藤岡正博⁴(北大・院・環境科学¹, 北大・院・地域², 屋久島生物部³, 筑波大・井川演習林⁴)
- P30 **#エゾシカの交通事故地点の分布拡大に関する季節性の把握**
*野呂美紗子^{1,2}, 原文宏¹, 荻原亨²((社)北海道開発技術センター¹, 北海道大学大学院工学研究科²)
- P31 **#エゾシカのロードキル防止に向けた音を用いた取り組み**
*鹿野たか嶺¹, 柳川久¹, 野呂美紗子², 原文宏², 神馬強志³(帯広畜産大学野生動物管理学¹, (社)北海道開発技術センター², 帯広開発建設部帯広道路事務所³)
- P32 **#幼齢人工林におけるエゾシカ食害の発生状況とエゾシカ生息密度指標との関係**
*明石信廣, 南野一博(北海道立林業試験場)
- P33 **北海道のエゾシカ猟における近年の規制緩和は捕獲数増加に効果があったか?**
*車田利夫(北海道環境科学研究センター)
- P34 **#足跡調査によるエゾシカの越冬期の行動と生息地利用**
*南野一博, 明石信廣(北海道立林業試験場)
- P35 **枝打ちはシカを呼び, 剥皮害を招くか?**
*佐野明(三重県科学技術振興センター)
- P36 **ニホンジカの放牧地利用に及ぼす臨界距離の影響**
*塚田英晴¹, 深澤充¹, 小迫孝実¹, 中村義男², 花房泰子²(農研機構・畜草研¹, 農研機構・動衛研²)
- P37 **#里ジカ個体数管理を目的とした誘引試験**
*濱崎伸一郎¹, 横山典子¹, 清野紘典¹, 阿部匡寛²(株)野生動物保護管理事務所関西分室¹, 岩手県大船渡地方振興局²)

#ポスター賞に応募している発表。

P会場(連大会議室)

- P38 **#大台ヶ原におけるニホンジカ(*Cervus nippon*)生息分布の季節変化**
*合田禄¹, 安藤正規², 佐藤宏明³, 柴田勲⁴(京大院農¹, 京都府林試², 奈女大理³, 名大院生命農⁴)
- P39 **深泥池湿原へのニホンジカの侵入と植生に対する採食圧**
*辻野亮¹, 松井淳², 丑丸敦史³, 瀬尾明弘¹, 川瀬大樹⁴, 内橋尚妙³, 鈴木健司³, 高橋淳子⁵, 湯本貴和¹, 竹門康弘⁶(総合地球環境学研究所¹, 奈良教育大学², 神戸大学³, 京都大学生態学研究センター⁴, 京都大学生態学研究センター⁵, 京都大学防災研究所⁶)
- P40 **徳島県剣山地域においてニホンジカが森林環境に与える影響について**
*森一生¹, 奥村栄朗²(徳島県森林林業研究所¹, 森林総合研究所四国支所²)
- P41 **#ヤクシカ採食圧下における根萌芽による樹木の個体群維持**
*幸田良介¹, 辻野亮², 藤田昇¹(京都大学生態学研究センター¹, 総合地球環境学研究所²)
- P42 **ヤクシカの個体群管理案と市民モニタリングの可能性**
*立澤史郎¹, 川村貴志², 松田裕之³, 太田碧海³, 常田邦彦⁴, 矢原徹一⁵(北大・文・地域¹, 屋久島生物部², 横国大・環境情報³, 自然環境研究セ⁴, 九大・理・生物科学⁵)
- P43 **丹沢山地におけるニホンジカ食害が中型哺乳類に及ぼす影響**
*鈴木圭, 太田真琴, 吉田竜太郎, 大久保慶信, 安藤元一(東農大・農・野生動物)
- P44 **#東京西部の人工林における林床植物および林床被覆におよぼすシカの影響とその要因**
*前山絵里¹, 高槻成紀²(東京大学・院 生物多様性科学研究室 現ITコンサル会社¹, 麻布大学²)

P会場(第2講義棟-11)

- P45 **鎌倉市におけるアライグマ捕獲個体群の年齢構成について**
*加藤卓也, 市田弥生, 羽山伸一(日本獣医生命科学大学 獣医学部 野生動物学教室)
- P46 **和歌山県田辺市でのアライグマ捕獲実績**
*鈴木和男(田辺市ふるさと自然公園センター)

P会場(第2講義棟-11)

- P47 **四国における移入種アライグマの現状**
*金城芳典, 谷地森秀二(特定非営利活動法人 四国自然史科学研究センター)
- P48 **#住宅地におけるタイワンスの空間利用—餌やりと電線地中化の影響—**
*佐藤視帆, 小池文人(横浜国立大学大学院環境情報学府)
- P49 **沖縄・奄美大島・本州(那覇市・やんばる・名瀬市・越前市)の外来種問題に対する地域住民の意識比較**
長野義春¹, *草刈秀紀², 山田文雄³, 竹村真由子², 五箇公一⁴(越前市エコビレッジ交流センター¹, WWFジャパン², 森林総合研究所³, 国立環境研究所⁴)
- P50 **#厚岸大黒島におけるゼニガタアザラシの繁殖ピークとそれに伴う上陸場の使い分け**
*日名耕司¹, 小林万里², 小笹純弥³, 鈴木正嗣⁴, 坪田敏男¹(北大院・獣医¹, 東農大・生物産業・アクアバイオ², 北海道教育大釧路校³, 岐阜大・野生動物医学⁴)
- P51 **飼育下のキタオットセイの食物選好性と嫌悪条件付け**
*清田雅史¹, 岡村 寛¹, 伊藤浩也², 鈴木規泰³, 香山薫³(遠洋水産研究所¹, 元東海大学海洋学部², 伊豆三津シーパラダイス³)
- P52 **#飼育下シャチにおける音声コミュニケーションと行動的文脈の分析**
*山本友紀子¹, 中原史生², 荒井一利³, 武田庄平⁴(東京工業大学¹, 常磐大学², 鴨川シーワールド³, 東京農工大学⁴)
- P53 **#胃・直腸洗浄と安定同位体分析を用いたキタオットセイの短・長期的な食性情報の収集**
*米崎史郎¹, 清田雅史¹, 香山薫²(遠洋水産研究所¹, 伊豆三津シーパラダイス²)
- P54 **1940年代の道東沿岸でワモンアザラシは卓越種だったのか?**
*千嶋淳(ゼニガタアザラシ研究グループ)
- P55 **根室・納沙布岬で混獲されたアザラシは、20年前とどのように変わったか?**
*小林万里¹, 熊谷文絵¹, 角本千治², 畑俊輔³, 桜井泰憲⁴(東農大・生物産業¹, 有限会社Eco Friends², カネボウ化粧品販売株式会社³, 北大院・水産⁴)
- P56 **1992-96年の目視調査データを用いた日本周辺のカマイルカの資源量推定**
宮下富夫¹, *岩崎俊秀¹, 諸貫秀樹²(水産総合研究センター遠洋水産研究所¹, 水産庁²)

P会場(第2講義棟-11)

- P57 **#北海道浜中町のサケ定置網におけるゼニガタアザラシを中心とした海生哺乳類の混獲記録(2005-2006年)**
*小林由美¹, 榎本尊文², 桜井泰憲¹(北海道大学大学院・水産・資源生態¹, 浜中町漁業者²)
- P58 **#エゾヒグマ集団におけるMHCクラスII遺伝子の分子進化と地理的多様性**
*合田直樹¹, 間野勉², 増田隆一^{1,3}(北大・院理・自然史¹, 道環境科学研究センター², 北大・創成研³)
- P59 **#山形県におけるツキノワグマの遺伝的多様性の解析**
*鶴野レイナ¹, 大西尚樹², 東英生³, 玉出英利⁴(慶大・先端生命¹, 森林総研², 山形の野生動物を考える会³, 山形大・理・生物⁴)
- P60 **ヘアートラップ法における新たなサンプル採取法の試み**
*森光由樹, 横山真弓(兵庫県立大学 森林動物研究センター)
- P61 **北海道東部浦幌地域におけるヒグマのアリ食**
青木千枝¹, *佐藤喜和¹, 菱山真美¹, 小林喬子²(日大・生物資源・森林動物¹, 日大・院・生物資源・森林動物²)
- P62 **#エゾシカの駆除数減少に伴うヒグマのエゾシカ利用割合の変化**
*小林喬子¹, 佐藤喜和², 南山依里³(日大・院・生物資源¹, 日大・生物資源・森林動物², 北大ヒグマ研究グループ³)
- P63 **#ツキノワグマ(*Ursus thibetanus Japonicus*)にとってのヒノキ内樹皮の食物的価値**
*山田亜希美¹, 藤岡正博²(筑波大学院・生命環境¹, 筑波大学・井川演習林²)
- P64 **#山梨県御坂山地におけるツキノワグマの食性とその長期的な変動**
*小池伸介(東京農工大学・院・連合農学)
- P65 **人工林を含む環境を利用するヒグマの利用環境評価の試み**
*釣賀一二三¹, 長坂晶子², 富沢昌章¹, 高田雅之¹(北海道環境科学研究センター¹, 北海道立林業試験場²)
- P66 **GPSテレメトリー法によるニホンツキノワグマの行動様式—ブナの豊凶と関連して—**
*有本勲¹, 後藤優介², 永井知佳¹, 古林賢恒¹(東京農工大・院・農¹, 立山カルデラ砂防博物館²)

P会場(第2講義棟-11)

- P67 **四国剣山山系におけるツキノワグマの生息地利用**
*金澤文吾¹, 山崎浩司¹, 伊藤徹², 草刈秀紀³(四国自然史科学研究センター¹, 高知大学理学部², WWFジャパン³)
- P68 **広島県のツキノワグマに関する施策と近年の出没、捕獲等の状況**
*藤井猛¹, 大井徹²(広島県¹, 森林総合研究所関西支所²)
- P69 **クマ剥ぎ被害の痕跡から加害個体を探る**
北村美美^{1,3}, *大西尚樹², 高柳敦¹(京大・院・農¹, 森林総研・関西², 北村現在: 京都市在住³)
- P70 **#集落接近時におけるツキノワグマの日周行動パターンの変化**
*水谷瑞希¹, 多田雅充^{1,2}, 高畑麻衣子³, 高柳敦³(福井県自然保護センター¹, 現所属: 福井県海浜自然センター², 京都大学大学院農学研究科³)
- P71 **長野県におけるツキノワグマ捕獲個体の年齢構成からみた2006年大量出没の特徴**
*岸元良輔(長野県環境保全研究所)
- P72 **長野県における2006年ツキノワグマ捕獲個体の炭素・窒素安定同位体比**
*中下留美子¹, 泉山茂之², 後藤光章³, 岸元良輔⁴, 楊宗興⁵, 林秀剛³(首都大学東京大学院理工学研究科¹, 信州大学農学部², NPO信州ツキノワグマ研究会³, 長野県環境保全研究所⁴, 東京農工大学大学院共生科学技術研究部⁵)
- P73 **#ニホンツキノワグマによる果樹被害地の環境要因とハザードマップの作成**
*岩城光¹, 島田直明², 由井正敏²(東京農工大学・院・農¹, 岩手県立大学・総合政策²)
- P74 **#ツキノワグマによる農作物被害痕からの最小加害個体数の推定**
*齋藤正恵¹, 山内貴義², 青井俊樹³(岩手大学・連合農学¹, 岩手県環境保健研究センター², 岩手大学・農³)

P会場(第2講義棟-12)

- P75 **宮古島ピンザアブから発掘されたケナガネズミ属の化石種**
*川口敏¹, 金子之史², 長谷川善和³(さぬき市在住¹, 坂出市在住², 群馬県立自然史博物館³)
- P76 **#アズマモグラにおける上腕骨の年齢変異に関する研究**
*芳賀有希, 岩佐真宏(日本大学生物資源科学部)

P会場(第2講義棟-12)

- P77 **#アカネズミにおける大臼歯の地域変異と齢変異に関する研究**
*松田佳樹, 岩佐真宏(日大・生物資源・動物資源・野生動物)
- P78 **#長崎県産ジャコウネズミにおける歯数変異**
*城ヶ原貴通^{1,4}, 子安和弘^{2,4}, 河合達志^{3,4}, 花村肇^{2,4}, 織田銃一¹(名大・院・生命農学・動物生産¹, 愛知学院・歯・解剖², 愛知学院・歯・歯科理工³, 愛知学院・口先研⁴)
- P79 **ネズミ科アレチネズミ亜科の咀嚼筋重量とその意義**
*佐藤和彦・岩久文彦(朝日大学歯学部口腔解剖学分野)
- P80 **#ロシア産および日本産タヌキ *Nyctereutes procyonoides* の頭骨・歯牙形態の地理的変異**
*羽馬千恵¹, 押田龍夫¹, 佐々木基樹², 遠藤秀樹³, 市川秀雄⁴, 増田泰⁵, Alex Abramov⁶(帯広大・野生動物¹, 帯広大・家畜解剖², 京大・霊長研³, 北大・北方圏フィールドセンター⁴, 斜里町役場・環境保全課⁵, ロシア科学アカデミー・動物⁶)
- P81 **飼育下のラッコの成長・相対成長と雌雄差及びカナダカワウソとの比較**
*香山薫¹, 清田雅史², 米崎史郎², 中島将行³(伊豆・三津シーパラダイス¹, 遠洋水産研究所², 元伊豆・三津シーパラダイス³)
- P82 **チンパンジー(*Pan troglodytes*)およびニホンザル(*Macaca fuscata*)足根関節の三次元画像解析**
*佐々木基樹¹, 遠藤秀紀², 大石元治³, 山田一孝⁴, 北村延夫¹(帯広大獣医解剖¹, 京大霊長研², 麻布大解剖第一³, 帯広大獣医 臨床放射線⁴)
- P83 **ニホンカモシカ頭蓋の地理的変異**
*夏目明香¹, 子安和弘², 織田銃一³((財)日本モンキーセンター¹, 愛院大・歯・解二², 名古屋大学大学院生命農学研究科動物生産科学第1³)
- P84 **#北海道沿岸に生息するゼニガタアザラシ(*Phoca vitulina stejnegeri*)とゴマフアザラシ(*Phoca largha*)の成長段階に伴う頭蓋骨形態の変化**
*中川恵美子¹, 小林万里², 鈴木正嗣³, 坪田敏男¹(北大院・獣医¹, 東農大・生物産業・アクアバイオ², 岐阜大・野生動物医学³)
- P85 **フロリダマナティーの頭骨における骨形態学研究**
*保尊脩¹, 川田伸一郎², 山田格², 織田銃一¹(名古屋大院・生命農¹, 国立科学博物館・動物研究部²)

P会場(第2講義棟-12)

- P86 **#多重遺伝子族5SrDNAの変異を利用した集団の遺伝的分化の検出**
*安田俊平¹, 湊秋作², 土屋公幸³, 鈴木仁¹(北大・院・地球環境・生態遺伝¹, キープやまねミュージアム², (株)応用生物³)
- P87 **#遺伝子配列を利用した未知資料の種属識別**
*黒瀬奈緒子¹, 梅津和夫², 渡邊剛太郎³(神奈川大学理学部生物科学科¹, 山形大学医学部法医学教室², 山形県警科学捜査研究所³)
- P88 **#釧路湿原に分布する食肉目の糞DNA分析による種および性別の判定**
*嶋谷ゆかり¹, 竹下毅², 立澤史郎², 池田透², 増田隆一^{1,3}(北大・院理¹, 北大・院文², 北大・創成研³)
- P89 **#ベトナム産モグラの分子系統学的解析**
*篠原明男¹, 川田伸一郎², Nguyen Truong Son³, Dang Ngoc Can³, 遠藤秀紀⁴, 越本知大¹(宮崎大学フロンティア科学実験総合センター¹, 国立科学博物館動物研究部², Vietnamese Academy of Sciences and Technology³, 京都大学霊長類研究所⁴)
- P90 **#伊豆諸島産アカネズミの各島における単純かつ固有な遺伝的組成**
*武智玲奈・林文男(首都大・理工・生命)
- P91 **#下顎骨形態およびBmp4遺伝子からみたコウベモグラ *Mogera wogura* の種内変異**
*桐原崇¹, 鈴木仁¹, 細田徹治², 土屋公幸³(北大・院・環境科学¹, 耐久高校², (株)応用生物³)
- P92 **#アズマモグラ(*Mogera imaizumii*)におけるマイクロサテライトマーカーの開発**
*村田智慧¹, 柴田清孝², 玉手英利³(山形大院・理工・生物多様性¹, 石巻専修大・理工・生物生産², 山形大・理・生物³)
- P93 **#山形県及び周辺地域におけるニホンザル(*Macaca fuscata*)の遺伝学的集団構造**
*千田寛子¹, 東英夫², 川本芳³, 玉手英利⁴(山形大・院・理工¹, 山形の野生動物を考える会², 京大・霊長研³, 山形大・理・生物⁴)
- P94 **北海道石狩平野の防風林におけるコウモリ相**
*石井健太¹, Mark A Brazil²(帯広畜産大学 野生動物管理学¹, 酪農学園大学 環境生態学²)

P会場(第2講義棟-12)

- P95 ***同所的に生息するコウモリ類3種における出現種構成パターンと飛翔高度選択**
*赤坂卓美, 中村太士(北海道大学大学院農学研究院 森林・緑地管理学講座)
- P96 **本州中部地区の森林棲および洞窟棲コウモリ類の生態学的研究(1) 南アルプス国立公園および周辺地域のコウモリ相(2004年4月から2007年7月までの調査結果)**
*佐藤顕義¹, 勝田節子¹, 山本輝正²(有限会社アルマス¹, 岐阜県立八百津高校²)
- P97 ***アブラコウモリ (*Pipistrellus abramus*) は本当に「都会地に多く山地に少ない」のか? -ルートセンサス及び音声録音調査による東京都の広域密度分布-**
*安藤陽子, 神崎伸夫(東京農工大学野生動物保護学教室)
- P98 **栃木県におけるヒメホオヒゲコウモリのツリーモデルを使った分布予測の試み**
*安井さち子¹, 上條隆志², 松井哲哉³, 丹波忠邦⁴(なし¹, 筑波大学², 森林総合研究所³, 茨城県⁴)
- P99 ***山梨県檜形山におけるニホンウサギコウモリの夜間行動と利用環境**
*吉倉智子¹, 石原誠², 中川雄三³(筑波大学大学院生命環境科学研究科¹, 山梨県立県民の森森林科学館², 動物写真家³)
- P100 **繁殖期におけるノレンコウモリとウサギコウモリの行動圏と利用環境**
*向山満¹, 鶴間亮一², 麻田昌克³, 真木伸隆³, 鬼久保浩正², 佐藤利奈³(NPO法人コウモリの保護を考える会¹, 株式会社ピー・シー・イー², パシフィックコンサルタンツ株式会社³)
- P101 **コテングコウモリの繁殖期のねぐら利用**
*平川浩文(森林総研・北海道)
- P102 **徳之島におけるリュウキュウテングコウモリの採餌域**
中山知洋¹, 前田喜四雄¹, 西井一浩²(奈良教育大学¹, アジア航測KK²)
- P103 ***北海道帯広市近郊におけるヤマコウモリの採餌活動**
*立神雅宣, 柳川久(帯広畜産大学 野生動物管理学研究室)
- P104 **カグラコウモリの出産パターン**
*松村澄子(山口大院・理工学)

P会場(2号館多目的講義室)

- P105 ***ボルネオ島の哺乳動物相に伐採強度の違いが与える影響**
*小野口剛¹, 松林尚志², 北山兼弘¹(京大大学生態学研究センター¹, 東京農業大学²)
- P106 ***中国雲南省哀牢山における小型哺乳類調査**
*森部絢嗣¹, 蔣学友², 林良恭³, 張育誠³, 小林秀司⁴, 織田銃一¹(名大院・生命農¹, 中国科学院昆明動物研究所², 台湾東海大学生命科学系³, 岡山理大・生物地球システム⁴)
- P107 ***Change in the Korean Field mice *Apodemus peninsulae* Movement Patterns Following Forest Road Construction**
* Sung Jin Park¹, Eun Jae Lee¹, Woo-Shin Lee¹, Shin-Jae Rhim², Chris C. Maguire³(Seoul National University¹, Chung-Ang University², Oregon Department of Transportation³)
- P108 ***カワネズミ *Chimarrogale platycephala* における生体捕獲罠の開発**
*藤本竜輔, 奥本将彦, 安藤元一(東農大・農・野生動物)
- P109 ***コウベモグラの体温・活動量の長期モニタリング**
*茂木邦人¹, 樫村敦², 篠原明男³, 土屋公幸⁴, 高橋俊浩⁵, 森田哲夫⁵(宮崎大・院・農¹, 宮崎大・院・農工², 宮崎大・フロンティア科学実験総合センター³, (株)応用生物⁴, 宮崎大・農・動物栄養生化学⁵)
- P110 **低温下で日長がエゾヤチネズミの免疫機能に与える影響**
*楠本華織¹, 安居院高志²(北大院農学研究科¹, 北大院獣医学研究科²)
- P111 **北海道産ハントウアカネズミの形態的特徴の種内・種間比較**
*金子之史(香川県坂出市)
- P112 ***オオアシトガリネズミによる土壤生態系へのトップダウン効果**
*南波興之, 大館智氏(北大低温研)
- P113 **農的環境下におけるカヤネズミ営巣地保全・創出の試み**
*黒田貴綱¹, 荘司たか志², 繁田真由美³, 古池可奈¹, 勝野武彦¹(日大・生物資源¹, 全国カヤネズミネットワーク², (株)野生生物管理³)
- P114 ***狭小森林においてエゾモモンガが移動した巣間距離**
*浅利裕伸¹, 柳川久²(岩手大学大学院連合農学・帯広畜産大学野生動物管理学¹, 帯広畜産大学野生動物管理学²)

#ポスター賞に応募している発表.

P会場(2号館多目的講義室)

- P115 **三宅島におけるアカネズミ*Apodemus speciosus*の分布**
*山岸学, 飯岡晋介, 岡本秀雄, 安藤元一, 小川博, 天野卓(東京農大・農・野生動物)
- P116 **横浜市におけるクリハラリスの分布調査**
*佐藤友紀子¹, 片岡友美²(神奈川リス研究会¹, 特定非営利活動法人生態工房²)
- P117 ***イヌブナの豊作に対する*Apodemus*属2種の個体群の反応の違い**
*奥村みほ子¹, 安田雅俊², 福井晶子³, 柴田銃江⁴, 正木隆⁵, 箕口秀夫⁶(新潟大学大学院自然科学研究科¹, 森林総合研究所九州支所², 日本野鳥の会³, 森林総合研究所東北支所⁴, 森林総合研究所森林植生研究領域⁵, 新潟大学自然科学系⁶)
- P118 ***帯広市街地におけるエゾモモンガのHSIモデルの構築と検証**
*小島典子¹, 柳川久¹, 辻修²(帯広畜産大学野生動物管理学的研究室¹, 帯広畜産大学地域環境工学研究室²)
- P119 ***神奈川県藤沢市における小型哺乳類の棲息環境について**
*西塚章, 岩佐真宏(日大・生物資源・動物資源・野生動物)
- P120 ***ロシア極東のネコ科動物の糞を用いた個体識別法の確立及び個体群サイズ推定**
*杉本太郎¹, 永田純子², Vladimir Aramilev³, Alexander Belozor³, 東正剛¹, Dale R. McCullough⁴(北海道大学環境科学院¹, 森林総研², ISUNR³, California Univ.⁴)
- P121 **マレーヒヨケザルのココヤシ農園での個体数変動と繁殖期およびジャワ島全域における分布について**
*馬場稔¹, 金城和三², 中本敦³, 伊澤雅子³, Boeadi⁴, 土肥昭夫⁵(北九自歴博¹, 冲国大・法², 琉大・理³, ボゴール動物博物館⁴, 長大・環境科学⁵)
- P122 ***絶滅危惧動物タマラオの保全に関する生態学的調査**
*石原慎矢¹, 松林尚志², R.M.Boyles³, R.L.Salac³, A.N. Del Barrio⁴, L.C. Cruz⁴, 金井幸雄¹(筑波大学生命環境科学¹, 東京農業大学農学部², Dept. of Environment and Natural Resources, Philippine Garabao Center³, Univ. of the Philippines⁴)

P会場(2号館多目的講義室)

- P123 **ザンビアの野生偶蹄類個体群管理に向けた年齢査定を試み**
*浅野玄¹, 鈴木由佳², Victor Siamdaala³, James Milanzi³, 福士秀人¹, 安田準⁴, 吉田光敏⁵, 板垣 匡⁴, Aaron Mweene⁶, 小川寛人⁷, 谷征宏¹, 源宣之⁸, 坪田敏男⁹, 鈴木正嗣¹(岐阜大¹, JICA/JOCV(現・北海道大)², Zambia Wildlife Authority³, 岩手大⁴, 鹿児島大⁵, University of Zambia⁶, 岐阜大(現・日生研)⁷, 岐阜大名誉教授⁸, 岐阜大(現・北海道大)⁹)
- P124 **和歌山県田辺市における雌アライグマの捕獲個体分析**
*尾形夕香¹, 鈴木和男², 浅野玄¹, 坪田敏男³, 鈴木正嗣¹(岐大・応生・野生動物医学¹, 田辺市ふるさと自然公園センター², 北大・院・生態³)
- P125 ***タヌキの社会構造が捕獲率に及ぼす影響—行動圏の空間配置解析—**
*關 義和, 小金澤正昭(宇都宮大学森林環境保全学講座)
- P126 **都市域におけるニホンイタチ(*Mustela itatsi*)の行動圏と環境利用について**
*岡田昌也, 黒田貴綱, 勝野武彦(日大・生物資源科学・緑地環境計画)
- P127 ***都市域における過去の森林ランドスケープがノウサギの分布に与える影響**
*斎藤昌幸, 小池文人(横国大・環境情報)
- P128 **野生動物に対する被害防止技術の検討**
*室山泰之¹, 川合伸幸²(兵庫県森林動物研究センター／兵庫県立大学¹, 名古屋大学大学院情報科学研究科²)
- P129 ***神奈川県に生息するニホンザルの人馴れについて**
*村上友和¹, 原真樹子², 安藤元一²((株)自然教育研究センター¹, 東京農工大学農学部野生動物学研究室²)
- P130 ***都市近郊および里山における狐狸道としての道路側溝**
*阿部純¹, 近藤美都², 後藤真美子³, 金山尚史⁴, 安藤元一⁵(新日本環境調査株式会社¹, JA兵庫六甲², 別海町観光開発公社³, どうぶつ村⁴, 東農大・農・野生動物⁵)
- P131 ***栃木県におけるツーリズム型狩猟を用いた保護管理政策の可能性**
*深澤敦子¹, 神崎伸夫¹, 丸山哲也², 戸田春那¹(東京農工大学野生動物保護学教室¹, 栃木県環境森林部自然環境課²)
- P132 **野生動物の総合的管理モデルの構築にむけて—何を指標とするか—**
高柳敦(京都大学大学院農学研究科)

#ポスター賞に応募している発表.

P会場(2号館多目的講義室)

P133 **マングースにおけるベイトマーカー(ローダミンB)の表出部位について**

*中田勝士, 小倉剛, 砂川勝徳(琉球大・農・亜熱帯動物学)

P134 **#冬鳥シロハラ**の飛来が外来種マングースの繁殖力を上昇させる

*巨悠哉¹, 阿部慎太郎², 山田文雄³, 宮下直¹(東大院農¹, 環境省那覇自然環境事務所², 森林総研³)



Programme

2004 Annual Meeting of the Mammalogical Society of Japan

Venue: Tokyo University of Agriculture and Technology, Fuchu, Japan

Dates: 14-17 September 2007

Inquiries: N. Kanzaki (Meeting Secretariat)

Lab. Wildlife Conservation, Tokyo University of Agriculture and Technology,
3-5-8 Saiwai-cho, Fuchu-shi, Tokyo 183-8509

Tel/Fax: +8-42-367-5738

E-mail: mam2007@cc.tuat.ac.jp

Web Site : <http://www.mammalogy.jp/msj2007/>

(Affiliations mentioned are only those of the presenting author (*).)

Open Symposium

Sunday, September 16

14:30–18:00

Room B

“Mammal studies for linking outcomes from observing captive animals or experimental analysis to fieldwork”

- S1 **Genetic monitoring for the conservation and management of local populations of macaques**
Yoshi KAWAMOTO (Primate Research Institute of Kyoto University)
- S2 **Interrelations between the wood mouse and acorns**
Takuya SHIMADA (Tohoku Research Center of Forestry and Forest Products Research Institute)
- S3 **What can we study by observing captive animals?
: from studies on primates, dolphins, mousedeer and rhinoceros**
Shiro KOHSHIMA (Tokyo Institute of Technology)
- S4 **Trial studies for application of experimental analysis to elucidate ecological evaluation of pollutants and their toxic effects toward wild mammals**
Isumi WATANABE (Tokyo University of Agriculture and Technology)

Workshops

Friday, September 14

Room ④

- 15:30–17:30 F1 **Discussin on species name of the domestic animal**
Chair: Sen-ichi ODA (Nagoya University)
- 18:00–20:00 F2 **What cause of pest control for Japanese serow?**
Chair: Hideo HIGASHI (Yamagata Wildlife Association)

Room ③

- 18:00–20:00 F3 **The resarch possibility of forest dwelling bat in Japan**
Chair: Kuniko KAWAI (Institute of Lowtemperature Science)

Room ⑤

- 18:00–20:00 F4 **Wolves, Wild, Again Mini-Symposium of Japan Wolf Association**
Chair: Tsuyoshi INOUE (JWA)

Saturday, September 15

Room C

- 13:00–15:00 F5 **Eradication of Invasive Rats on Islands – Report of Black Rat Eredication Project in Nishijima, Ogasawara Islands–**
Chair: Takuma HASHIMOTO (Japan Wildlife Research Center)

Workshops

- 15:30–17:30 F6 **Research of stranded marine mammals**
Chair: Yoko MITANI (Tokyo Institute of Technology)
- 18:00–20:00 F7 **A review of the eradication projects of the invasive alien species mongoose**
Chair: Funmo YAMADA (Forestry and Forest Products Research Institute)
- Room A**
- 13:00–15:00 F8 **Habitat re-construction of Japanese monkeys and forest management**
Chair: Kazuo WADA (Primate Research Institute of Kyoto University)
- 15:30–17:30 F9 **Perspective of population control in Japanese macaque**
Chair: Kunio TOKIDA (Japan Wildlife Research Center)
- 18:00–20:00 F10 **Damage management of Japanese macaque troops – from the viewpoint of next generation –**
Chair: Katsuya SUZUKI (Primate Research Institute of Kyoto University)
- Room B**
- 13:00–15:00 F11 **Present status of the bear population in Western Chugoku Mountains, and improvement of the monitoring techniques for the population**
Chair: Toru OI (FFPRI)
- 15:30–17:30 F12 **Estimating bear population using hair snares and microsatellite DNA markers. – Present conditions and issues**
Chair: Hifumi TSURUGA (Hokkaido Institute of Environmental Sciences)
- 18:00–20:00 F13 **Present situation and issues in bear population monitoring in Japan**
Chair: Tsutomu MANO (Hokkaido Institute of Environmental Sciences)
- Room D**
- 13:00–15:00 F14 **Katachi no Gakko 12**
Chair: Hideki ENDO (Primate Research Institute of Kyoto University)
- 15:30–17:30 F15 **Workshop “Blakiston’s line and natural history of Hokkaido”**
Chair: Ryuichi MASUDA (Hokkaido University)
- 18:00–20:00 F16 **Recent Advances in the ecology and conservation of Japanese water shrew; *Chimarrogale platycephala***
Chair: Yasushi YOKOHATA (University of Toyama)
- Room E**
- 13:00–15:00 F17 **Foods of mammals: “One more step” from dietary compositions**
Chair: Seiki TAKATSUKI (Azabu University)
- 15:30–17:30 F18 **Wildlife Imaging Researches**
Chair: Masatoshi YASUDA (FFPRI-Kyushu)
- 18:00–20:00 F19 **Latest topics and trends in research on the weasel family species**
Chair: Yayoi KANEKO (Yamazaki College of Animal Health Technology)

Oral Presentations

Saturday, September 15

Room A

- 10:00–10:15 15A1 **Study on diving behaviour of female Antarctic fur seals with acceleration data logger**
*Takashi IWATA, (The Graduate University for Advanced Studies), Sarah ROBINSON, Phil TRATHAN, Akinori TAKAHASHI
- 10:15–10:30 15A2 **Food habits of finless porpoises (*Neophocaena phocaenoides*) in Seto Inland Sea and adjacent waters**
*Yuki SUZUKI (Nihon University), Toshiaki ISHIBASHI, Koji TAKADA, Taira TANAKA, Tadasu K. YAMADA, Toru TANIUCH
- 10:30–10:45 15A3 **Craniofacial variation and dietary adaptations in colobine monkeys**
*Daisuke KOYABU (Kyoto University), Hideki ENDO
- 10:45–11:00 15A4 **Specimens in school: a case study of school support for environmental education**
*Chiemi SAITO (Miyagi University of Education), Yuko KIKYOU, Yoshihiro UKAWA
- 11:00–11:15 15A5 **A factor triggering torpor in laboratory shrew, *Suncus murinus***
*Hiroshi MASUDA (Univ. Miyazaki), Yuji TOYOFUKU, Toshihiro TAKAHASHI, Tetsuo MORITA, Sen-ichi ODA
- 11:15–11:30 15A6 **Durability of Lotek GPS collars on free-ranging brown bears in Shiretoko**
*Masao KOHIRA (Shiretoko Nature Foundation), Masanao NAKANISHI, Hideaki OKADA, Masami YAMANAKA

Room B

- 10:00–10:15 15B1 **Attempts identification of middle carnivores by remote camera**
*Hiroshi TANAKA (Yamaguchi Museum), Jun KINUGASA
- 10:15–10:30 15B2 **Searching squirrel populations in Kyushu**
*Masatoshi YASUDA (FFPRI-Kyushu), Tomomi KATAOKA
- 10:30–10:45 15B3 **The relationship between population dynamics of the urban fox in Sapporo and sacroptic mange**
*Kohji URAGUCHI (Hokkaido Institute of Public Health), Kenichi TAKAHASHI
- 10:45–11:00 15B4 **Breeding success and badger sett temperature variation in a high density area**
*Yayoi KANEKO (Yamazaki College of Animal Health Technology), Chris NEWMAN, Christina BUESCHING, David M. MACDONALD
- 11:00–11:15 15B5 **Japanese marten's forest habitat selection expected by the radio-tracking data at the north base of Mt. Fuji in Yamanashi and Takahara in Tochigi**
*Toshihiko NAKAMURA (Tokyo Metropolitan Government), Osamu KURASHIMA, Nobuhiko SATO

Oral Presentations

- 11:15–11:30 15B6 **Mongoose, an invasive predator, and ecosystem management on Amami Island, Japan**
*Ken ISHIDA (The University of Tokyo), Yasunori MAEZONO, Tadashi MIYASHITA, Yuya WATARI
- 11:30–11:45 15B7 **Reproductive traits of *Myocastor coypus* in Hyogo**
*Sawako EGUSA (Wildlife Management Research Center), Hiroshi SAKATA
- 11:45–12:00 15B8 **Wildlife damage on orchard and using exclusion to solve wildlife damage**
*Masahiko TAKEUCHI (National Agricultural Research Center), Taisuke MIYAMOTO, Fukuo MIYAUCHI, Mari FURUKAWA, Shuuji YACHIMORI, Yoshinori KANESHIRO, Hironori UEDA

Sunday, September 16

Room A

- 09:00–09:15 16A1 **Faunal Bat Survey of Pilot Forest in Eastern Hokkaido**
*N.KONDO (Nemuro City Museum of History and Nature), N. SASAKI
- 09:15–09:30 16A2 **Phylogeography of the Japanese pipistrelle (*Pipistrellus abramus*)**
*Kuniko KAWAI (Institute of Lowtemperature Science), L. M. ECHENIQUE-DIAZ, Dai FUKUI, K. ARMSTRONG, K. TSYTSULINA
- 09:30–09:45 16A3 **The conservation of microbats in the Ryukyu archipelago**
*Lázaro M. ECHENIQUE-DIAZ(Tohoku University), Kuniko KAWAI, Kyle N. ARMSTRONG, Masakado KAWATA
- 09:45–10:00 16A4 **Night-roost usage in the Japanese house-dwelling bat, *Pipistrellus abramus***
*Kimitake FUNAKOSHI (The International University of Kagoshima), Rie KATAHIRA, Hiromi IKEDA, Hajime YAMASHITA
- 10:00–10:15 16A5 **What and where, does the large Japanese mole (*Mogera wogura*) eat?**
*Atsushi KASHIMURA (Univ. Miyazaki), Kunihito MOTEKI, Akio SHINOHARA, Kimiyuki TSUCHIYA, Toshihiro TAKAHASHI, Tetsuo MORITA
- 10:15–10:30 16A6 **Detection of the effect of the prior residence in captive lesser Japanese mole**
Megumi OHTANI, Mariko NAKAI, Yuko GOTO, Emiko TAKI, *Yasushi YOKOHATA (Grad.Sch.Univ.Toyama)
- 10:30–10:45 16A7 **Seasonality of falls (deaths) into gutter of small mammals**
*Ken-ichiro TAKANAKA(Tokyo Univ. of Agriculture), Motokazu ANDO, Hiroshi OGAWA, Kimiyuki TSUCHIYA, Mizuko YOSHIYUKI, Takashi AMANO
- 10:45–11:00 16A8 **Availability of large Japanese field mice (*Apodemus speciosus*) for genotoxic assessment of environmental pollution**
*Takahiro KYOYA(Hirosaki Univ. (Present; Kumiai Chem.Ind. Co., Ltd), Yoshitaka OBARA, Tsuneo SEKIJIMA

Oral Presentations

- 11:00–11:15 16A9 **Habitat preference of Japanese water shrew in Tanzawa Mountains**
Masahiro A. IWASA (Nihon University)
- 11:15–11:30 16A10 **Capture surveys of 3 species in genus Tokudaia (*Muridae*) on Amami, Tokunoshima and Okinawa Islands**
F. YAMADA (Forestry and Forest Products Research Institute), T. HASHIMOTO, S. ABE, Y. Nagai, N. Kotaka, H. SHICHIRI
- 11:30–11:45 16A11 **Effect of local male density on the occurrence of multi-male mating in the gray-sided vole (*Clethrionomys rufocanus*)**
Yasuyuki ISHIBASHI, *Takashi SAITOH (Hokkaido University)

Room B

- 09:00–09:15 16B1 **Geographic differences in karyotype of the sika deer *Cervus nippon***
*Masashi HARADA (Osaka City Univ.), Akiro ANDO, Harumi TORII, Shirow TATSUZAWA, Hiromasa IGOTA, Eiji HOSOI, Hiroki KANAMORI, Koichi IKEDA, Yuji KAWAI, Kayoko SUETSUGU
- 09:15–09:30 16B2 **Elevational variations in food habits of sika deer on Izu Peninsula**
Tomoko KITAMURA, *Seiki TAKATSUKI (Azabu University), Yoshikazu SATO
- 09:30–09:45 16B3 **Effect of basal diet on feeding habitat of the Japanese sika deer (*Cervus nippon*)**
*Maria OIKAWA (Tokyo University of Agriculture and Technology), Kengo FURUBAYASHI, Yutaka YOSHIDA
- 09:45–10:00 16B4 **Evaluation of browsing index for the sika deer population density in Hokkaido**
*Hiroyuki UNO (Hokkaido Institute of Environmental Sciences), Hifumi TSURUGA, Masaaki TOMIZAWA, Miki SEINO
- 10:00–10:15 16B5 **Copulatory behavior of Sichuan snub-nosed monkeys in Qinling mountains**
Kazuo WADA (Primate Research Institute of Kyoto University)
- 10:15–10:30 16B6 **Mating Tactics in Male Yakushima macaques (*Macaca fuscata yakuii*): Analysis of Mating Patterns**
*Naofumi NAKAGAWA (Kyoto University), Hideki SUGIURA, Miki MATSUBARA, Syoko HAYAKAWA, Shiho FUJITA, Shigeru SUZUKI, Yukiko SHIMOOKA, Mari NISHIKAWA
- 10:30–10:45 16B7 **Comparison of hybridization between rhesus (*Macaca mulatta*) and long-tailed macaques (*M. fascicularis*) distributed to Thailand and Vietnam**
*Yuzuru HAMADA (Kyoto Univ.), Vo Dinh SON, Tran Huy VU, Le Van HOANG, Nguyen Van HUNG, Nguyen VAN, Suchinda MALAVIJITOND, Shunji GOTO, Yoshi
- 10:45–11:00 16B8 **Effects of fruits-masting on fall home range use of Japanese macaques on Kinkazan Island, northern Japan**
*Yamato THUJI (Azabu University), Seiki TAKATSUKI

Oral Presentations

- 11:00–11:15 16B9 **Examination of the exclusion method from farmland of Japanese monkey (*Macaca fusca*) doing damage to group II**
*Mitsuhiro OKADA (Nagano Prefecture Forestry Research Center), Yasuhiro KOYAMA, Masato YAMANOUCHI
- 11:15–11:30 16B10 **Research on Home Range of Wild Boar (*Sus scrofa*) Using GPS Radio Collar**
*Yuji KAWAI (Res. Inst. of Env., Agr. and Fish., Osaka Pref. Gov.), Eiji YAMADA, Yuzuru ISHIZUKA, Yoshihiro KAMIYAMA
- 11:30–11:45 16B11 **Habitat use and seliction of wild boar inhabited next to farmland in Hyogo**
*Mayumi YOKOYAMA (University of Hyogo), Yumiko KINOSHITA, Kimitoshi ETO, Satomi YONEZAWA, Hiroshi SAKATA, Kunihiko TOKIDA
- 11:45–12:00 16B12 **Temperate Grass Pasture Provideds Winter Food for Wild Boar**
*Hironori UEDA (National Agriculture Research Center for Western Region), Yoshitaka TAKAHASHI, Masateru INOUE

Monday, September 17

Room A

- 09:00–09:15 17A1 **Anatomy of New bone *Elephas maximus* jaws and Tooth Morphogenesis**
*Yukishige KOZAWA (Nihon Univ.), Kunihiro SUZUKI, KHONKHUNTHIAN, THITARANM, SOMGEIRD
- 09:15–09:30 17A2 **Cranial variation and taxonomic revision of the genus *Tursiops*.**
*Nozomi KURIHARA (Nagoya Univ. , present address: National Museum of Nature and Science), Sen-ichi ODA
- 09:30–09:45 17A3 **Genetic composition of mass-stranded melon-headed whales (*Peponocephala electra*) on the Japanese coast**
*Azusa HAYANO (Kyoto Univ.), Tadasu YAMADA, Toshiaki KURAMOCHI, Tsunoe KAKUDA, Masao AMANO, Nobuyuki MIYAZAKI
- 09:45–10:00 17A4 **Cranial morphological comparison between *Mustela itatsi* and *M. sibirica***
*Satoshi SUZUKI (Kyoto University), Mikiko ABE, Masaharu MOTOKAWA
- 10:00–10:15 17A5 **Numerical Variation of Teeth and associated variation in skull morphology and bite force estimate in *Nyctereutes procyonoides* .**
*Masakazu ASAHARA (Kyoto University), Masaharu MOTOGAWA
- 10:15–10:30 17A6 **Geographic variation in cranium shape of the large Japanese field mouse, *Apodemus speciosus***
*Yuta SHINTAKU (Kyoto Univ), Masaharu MOTOKAWA

Oral Presentations

- 10:30–10:45 17A7 **Morphological identification of *Euroscaptor parvidens* from middle and southern Vietnam.**
*Shinichiro KAWADA (National Museum of Nature and Science), Akio SHINOHARA, Nguyen Truong SON, Dang Ngoc CAN, Hideki ENDO
- 10:45–11:00 17A8 **A subfamily classification of the carnivoran family Mustelidae based on phylogenetic evidence from multiple nuclear and mitochondrial DNA loci**
*Jun SATO (Fukuyama University), Mieczysław WOLSAN, Tetsuji HOSODA, Hitoshi SUZUKI
- 11:00–11:15 17A9 **Phylogenetic relationships among the Old World *Sciurus* squirrels**
*Tatsuo OSHIDA (Obihiro University), Atilla ARSLAN, Maiko NODA
- 11:15–11:30 17A10 **Comparison of geographic pattern of winter coat color and genetic variation of the Japanese hare, *Lepus brachyurus***
*Mitsuo NUNOME (Hokkaido University), Harumi TORII, Fumio YAMADA, Kimiyuki TSUCHIYA, Hitoshi SUZUKI
- 11:30–11:45 17A11 **Genetic variation in *Apodemus speciosus* viewed from multiple nuclear gene markers: Genetic distinctiveness of the local population on Izu Islands**
*Morihiko TOMOZAWA (Hokkaido University), Hitoshi SUZUKI, Kimiyuki TSUCHIYA
- 11:45–12:00 17A12 **Haplotype assessment of eight linked nuclear gene sequences revealed multiple colonization events of the Japanese house mouse *Mus musculus molossinus***
*Hitoshi SUZUKI (Hokkaido University), Mitsuo NUMOME, Kimiyuki TSUCHIYA, Hiromichi YONEKAWA, Kazuo MORIWAKI

Room B

- 09:00–09:15 17B1 **An application of cohort analysis with plus group to harvest data of terrestrial mammals**
*Mayumi UENO (Hokkaido University), Takashi MATSUISHI, Erling J. SOLBERG, Takashi SAITO
- 09:15–09:30 17B2 **Semi-real time tracking system of Japanese black bears using a low earth orbit satellite communications**
*Koji YAMAZAKI (Ibaraki Nature Museum), Tomonao HAYASHI, Koji YOKOYAMA, Shigeru HOSOKAWA, Yukihumi KOHJJI, Syunichi KINOSHITA, Chinatsu KOZAKAI, Shinsuke KOIKE
- 09:30–09:45 17B3 **Analysis of Japanese black bear behavior using activity sensor**
*Chinatsu KOZAKAI (Tokyo University of Agriculture and Technology), Shinsuke KOIKE, Koji YAMAZAKI, Kengo FURUBAYASHI

Oral Presentations

- 09:45–10:00 17B4 **Feasibility of the hair-trap technique for Asiatic black bear in the Tono city, Iwate prefecture, Japan.**
*Kiyoshi YAMAUCHI (Research Institute for Environmental Sciences and Public Health of Iwate Prefecture), Masashi KUDO, Masae SAITO, Yo HIRANO
- 10:00–10:15 17B5 **How many bears? –A look into the Crystal Ball®**
*Teruki OKA (FFPRI), Masashi KUDO, Takayoshi YAMAUCHI, You HIRANO, Shiniti HORI, Kaoru ANDO
- 10:15–10:30 17B6 **Polymorphic analysis of MHC gene in the Asiatic black bear**
*Yoshiki YASUKOCHI (Kyushu University), Toshihumi KUROSAKI, Masa-aki YONEDA, Yuko KOIKE
- 10:30–10:45 17B7 **Relationship between the acorn yield and autumnal behavior of Asiatic bears in the east-Chugoku population**
*Nobusuke NISHI (Tottori Univ.), Humiko HUIJITA, Hukuka YAMAMOTO
- 10:45–11:00 17B8 **Nutritional condition and food habit of Japanese black bears killed for intruding human settlements in the autumn of 2004**
*Toru OI (FFPRI), Hitomi FURUSAWA
- 11:00–11:15 17B9 **The timing of thaw affects the number of nuisance bears in spring in northern Japan**
*Yui NEMOTO (Tokyo University of Agriculture and Technology), Kazuhiko HOSHIZAKI, Teruki OKA
- 11:15–11:30 17B10 **Trend of seasonal brown bear kills and its causes**
Tsutomu Mano (Hokkaido Institute of Environmental Sciences)

Poster Presentations

Saturday, September 15 Core time:11:30–13:30

Sunday, September 16 Core time:11:30–12:45

Monday, September 17

Room P1

- P1 **Genetic variation of Mongolian gazelle (*Procapra gutturosa*)**
*Ayumi OKADA (Kitasato University), Takehiko Y. ITO, B. LHAGVASUREN, B. BUUVEIBAATAR, Junji SHINDO, Atsushi TSUNEKAWA
- P2 **Capturing and satellite tracking of Asiatic wild ass in the southeastern Gobi area, Mongolia**
*Takehiko. Y. ITO (Tottori University), B. CHIMEDDORJ, B. LHAVAGVASUREN, C. WALZER, P. KACZENSKY, E. SOS, A. TSUNEKAWA, T. SANKEKATA, Y. ADIYA

Poster Presentations

- P3 **Seasonal and daily use of natural licks by sambar deer (*Cervus unicolor*) in a Bornean tropical rain forest**
*Hisashi MATSUBAYASHI (Tokyo University of Agriculture), Peter LAGEN Jun Rafiah Abd. SUKOR, Kanehiro KITAYAMA
- P4 **Comparative analysis on population dynamics of wild boar and Sika deer**
*Hiroshi SAKATA (University of Hyogo), Daisuke FUJIKI, Yasutaka KISHIMOTO
- P5 **Monitoring for population dynamics of the Japanese wild boar –Hunting records**
*Hiroki KANAMORI (Shimane Prefectural Mountainous Region Research Center), Wataru YAMAKAWA, Seigo SAWADA, Hikaru FUJITA
- P6 **Diet of wild boar *Sus scrofa* and crop damage in Western Tokyo, Japan**
*Nanae SHINJO (Nihon University), Yoshikazu SATO, Eiji KANDA
- P7 **Analysis of microsatellite DNA polymorphism of Japanese serow (*Capricornis crispus*)**
*Takashi NISHIMURA (Iwate University), Kiyoshi YAMAUCHI, Yoshitaka DEGUCHI, Kazue MATSUBARA, Toshiki AOI, Tsunenori TSUJIMOTO
- P8 **Interspecific interaction between Japanese Hare and Sika deer**
*Motokazu KIMURA (Utsunomiya Univ.), Masaaki KOGANEZAWA
- P9 **Molecular phylogeography of *Cervus elaphus* and *C. nippon* , inferred from the paternally inherited ZFY gene sequences**
*Daichi NABATA (Hokkaido Univ.), Halik MAHMUT, Koichi KAJI, Junko NAGATA, Noriyuki OHTAISHI, Ryuichi MASUDA
- P10 **Genetic population structure of sika deer, *Cervus nippon* , in the Boso Peninsula, central Japan**
*Masanobu YOSHIO (The University of Tokyo), Masahiko ASADA, Keiji OCHIAI, Tadashi MIYASHITA, Haruki TATSUTA
- P11 **Genetic status of Sika deer (*Cervus nippon*) populations in Nara.**
*Ryoko MURAKAMI (Yamagata Univ.), Hidetoshi. B.TAMATE, Haruki TORII
- P12 **Comparison of molar wear rates among the sika deer populations with different food habits**
*Mugino OZAKI(Univ. of Tokyo) , Seiki TAKATSUKI
- P13 **Detection of estrus in sika deer (*Cervus nippon*)**
*Yojiro YANAGAWA(Hokkaido University), Yukiko MATSUURA, Masatsugu SUZUKI ·Seiji KATAGIRI, Yoshiyuki TAKAHASHI, Shiniti SAGA, Hideto OKUYAMA, Daisuke FUKUI, Gen BANDO, Toshio TSUBOTA

Poster Presentations

- P14 **Immunohistochemical studies on sex hormonal regulation system of the testis in Sika Deer (*Cervus nippon*)**
*Daisuke HAYAKAWA(Obihiro Univ. of Agriculture and Veterinary Medicine), Motoki SASAKI, masatsugu SUZUKI, Hiromasa IGOTA, Toshio TSUBOTA, Koichi KAJI, Nobuo KITAMURA
- P15 **Use of unpalatable plants by sika deer under food limitation**
Yuko YAMAMOTO(Tokyo University of Agriculture & Technology)
- P16 **Mass mortality of sika deer and exhaustion of an unpalatable plant**
*Hiroshi TAKAHASHI (Tokyo Univ. Ag. & Tec.), Koichi KAJI
- P17 **Rumen contents analysis of sika deer in Mt.Ohdaigahara, central Japan**
*Harumi TORII (Nara Univ. of Edu.), Kazuo SUZUKI, Masaki ANDO, Ayako TAKANO, Toshifumi KUROSAKI, Ryota ARAKI
- P18 **Comparative analyses on food habits and food proximate composition of sympatric introduced muntjac and native sika deer**
*Keiji OCHIAI(Natural History Museum and Institute), Masahiko ASADA
- P19 **How many times does he call? Intra-specific variation in rutting call of sika deer**
Akira ENDO (Saga Univ.)
- P20 **The adaptive significance of multi-male mating in female sika deer**
*Naoko HIGUCHI(Osaka City University), Nobumasa OHNISHI, Masanori KODA, Masato MINAMI
- P21 **Effect of birth date on survival and early growth of male Sika deer (*Cervus nippon*) in Kinkazan Island**
*Masato MINAMI(NPO Picchio), Nobumasa OHNISHI, Naoko HIGUCHI, Ayumi OKADA, Seiki TAKATSUKI
- P22 **Effect of birth date on survival, early growth and lifetime reproductive success of male Sika deer (*Cervus nippon*) in Kinkazan Island**
*Nobumasa OHNISHI(NPO Picchio), Masato MINAMI, Naoko HIGUCHI, Ayumi OKADA, Seiki TAKATSUKI
- P23 **Patial dynamics and population management strategies of sika deer in Boso peninsula proposed by using a spatially explicit model**
*Go FUJITA (University of Tokyo), M. SANDOH, M. TAKADA, M.SUZUKI, M.YOSHIO, H.TATSUTA, K. OCHIAI, M. ASADA, N. MIYASHITA
- P24 **Estimate of mortality rate and Doe-Fawn ratio of Sika deer by using the vertical photograph**
* Masaaki KOGANEZAWA(Utsunomiya University), Megumi HAZAKI

Poster Presentations

- P25 **Age structure and pregnant rate of sika deer population in Kyoto Prefecture**
*Masaki ANDO(Kyoto Prefectural Forestry Experimental Station), Y. MURATA, Y. KONOYA, T. KAWAKATSU
- P26 **A characteristic of local population of sika deer living in Awaji-shima, Hyogo**
*Yumiko KINOSHITA(Wildlife Research Center, Hyogo), Mayumi YOKOYAMA, Satomi YONEZAWA
- P27 **Aerial deer census in Mt. Goyo, Iwate, for the fourth time**
*Shin-Ichi HORINO(FFPRI-Tohoku), Takuya SHIMADA, Teruki OKA, Kiyoshi YAMAUCHI, Masashi KUDO
- P28 **Estimation of available forage biomass by sika deer in forest using forest registry**
Yusuke YAMAMOTO (Kyoto University), Atsushi TAKAYANAGI
- P29 **Evaluation of forestry road and artificial forests as feeding site for Yaku sika deer (*Cervus nippon yakushimae*): Seasonal variation of food biomass and biting signs**
*Chisato TERADA (Hokkaido Univ.), S. TACHIZAWA, T.KAWAMURA, M. FUJIOKA
- P30 **Seasonal Factors in Continued Spreading of High Deer-Vehicle Accident Areas**
*Misako NORO (Hokkaido University), Fumihiko HARA, Toru OGIWARA
- P31 **Effectiveness of sounds for Hokkaido sika deer –for prevent of deer-vehicle crash–**
*Takane SHIKANO(Obihiro Univ. of Agriculture and Veterinary Medicine), Hiroshi YANAGAWA, Misako NORO, Fumihiko HARA, Tsuyoshi JINMA
- P32 **Browsing damage by sika deer on trees in young plantations and its relation to relative deer density indices in Hokkaido**
*Nobuhiko AKASHI (Hokkaido Forestry Research Institute), Kazuhiro MINAMINO
- P33 **Was the easing of the deer hunting regulations in Hokkaido in recent years effective in a capture number increase?**
Toshio KURUMADA (Hokkaido Institute of Environment Sciences)
- P34 **Behavior and habitat use of sika deer by snow-track survey during wintering period**
*Kazuhiro MINAMINO(Hokkaido Forestry Research Institute), Nobuhiro AKASHI
- P35 **Does pruning operation attract sika deer and cause barking damage to coniferous plantations?**
Arira SANO (Mie Prefectural Science and Technology Promotion Center)

Poster Presentations

- P36 **The effect of critical distance on the pasture utilization of Sika deer**
*Hideharu TSUKADA(National Institute of Livestock and Grassland Science), Mitsuru HUKAZAWA, Takami KOSAKO, Yasuko HANABUSA
- P37 **Baiting experiment of sika deer for population control in rural area**
*Shinichiro HAMASAKI (Wildlife Management Office Kansai Branch), Noriko YOKOYAMA, Hironori SEINO, Masahiro ABE
- P38 **Seasonal distribution of sika deer (*Cervus nippon*) on Mt. Ohdaigahara, central Japan**
*Roku GODA(Kyoto University), Masaki ANDO, Hiroaki SATO, Ei'ichi SHIBATA
- P39 **Invasion of Mizorogaike wetland by sika deer and its feeding impacts on the vegetation**
*R. TSUJINO(RIHN), K. MATSUI, A. USHIMARU, A. SEO, D. KAWASE, H. UCHIHASHI, K. SUZUKI, J. TAKAHASHI, T. YUMOTO, Y. TAKEMON
- P40 **Impact of Sika deer on the forest in Mt. Tsurugi area, Tokushima Pref., Shikoku Is.**
*Kazuo MORI (Forest and Forestry Research Institute), Hideo OKUMURA
- P41 **Tree population maintenance by root sprouts under feeding pressure of sika deer**
*Ryosuke KODA(Kyoto Univ.), Ryouji TSUJINO, Noboru FUJITA
- P42 **Community Involved Management and Civic Monitoring of Yaku Sika Deer Population**
*Shirow TATSUZAWA(Hokkaido University), Takashi KAWAMURA, Hiroyuki MATSUDA, Aomi OHTA, Kunihiko TOKITA, Tetsukazu YAHARA
- P43 **The influence of sika deer increase upon medium-sized mammals in the Tanzawa Mountains**
*Kei SUZUKI (Tokyo Univ. of Agriculture), Makoto OHTA, Ryutarō YOSHIDA, Yoshinobu OHKUBO, Motokazu ANDO
- P44 **The effects on understory vegetation and cover by deer at western Tokyo.**
*Eri MAEYAMA (The University of Tokyo), N. TAKATSUKI

Room P2

- P45 **Age structures of captured population of raccoons in Kamakura city**
*Takuya KATO(Nippon Veterinary and Life Science University), Yayoi ICHIDA, Shin-ichi HAYAMA
- P46 **Feral raccoons in Tanabe city, Wakayama**
Kazuo SUZUKI (Hikiwa Park Center, Tanabe city)

Poster Presentations

- P47 **The present status of an alien raccoon, *Procyon lotor* on Shikoku Island, southern Japan**
*Yoshinori KANESHIRO (Shikoku Institute of Natural History), Syuuji
- P48 **Space use of the Formosan Squirrel in residential area and city planning to prevent range expansion**
*Miho SATO(Yokohama National University), Fumihito KOIKE
- P49 **Consideration comparison of local populace to Alien Species issue of Okinawa, Amami Oshima and the Mainland**
*Yoshiharu NAGANO (Echizen city EcoVillage Exchange Center), Hidenori KUSAKARI, Fumio YAMADA, Mayuko TAKEMURA, Koichi GOKA
- P50 **Haulout patterns of during breeding season of Kuril Harbor Seals (*Phocartulina stejnegeri*) in Akkeshi Daikoku Island.**
*Koji HINA(Hokkaido University), Mari KOBAYASHI, Jyunya KOZASA, Masatsugu SUZUKI, Toshio TSUBOTA
- P51 **Diet preference and aversion conditioning in captive northern fur seals**
*Masashi KIYOTA(National Reserch Institute of Far Seas Fisheries), Hiroshi OKAMURA, Hiroya ITOH, Noriyasu SUZUKI, Kaoru KOYAMA
- P52 **Analysis of vocalizations and behavioral context in captive killer whales**
*Yukiko YAMAMOTO(Tokyo Institute of Technology), F. NAKAHARA, K. ARAI, S. TAKEDA
- P53 **Short-term and middle-term diet information of northern fur seals based on stomach lavage, enema and stable isotope analysis**
*Shirow YONEZAKI(National Research Institute of Far Seas Fisheries), Masashi KIYOTA, Kaoru KOHYAMA
- P54 **Were ringed seals dominant seal species along the eastern coast of Hokkaido in 1940's?**
Jun CHISHIMA (Kuril Harbour Seal Research Group)
- P55 **How did seals change 20years ago? These seals were incidentally caught by salmon trap nets of the Nossapu Cape, Nemuro Peninsula**
*Mari KOBAYASHI (Tokyo University of Agriculture), Fumie KUMAGAI, Chiharu KADOMOTO, Shunsuke HATA, Yasunori SAKURAI
- P56 **Abundance estimates of Pacific white-sided dolphins around Japan using sighting data during the years between 1992 and 1996.**
Tomio MIYASHITA *Toshihide IWASAKI(National Research Institute of Far Seas Fisheries, Fisheries Agency), Hideki MORONUKI

Poster Presentations

- P57 **By-catch records of Kuril harbor seal and other marine mammals by salmon set-net fishery in Hamanaka, eastern Hokkaido, Japan, 2005–2006**
*Yumi KOBAYASHI (Hokkaido University), Takafumi ENOMOTO, Yasunori SAKURAI
- P58 **Molecular evolution and geographic diversity of the MHC class II gene in the Japanese brown bear (*Ursus arctos yesoensis*)**
*Naoki GODA (Hokkaido University), Tsutomu MANO, Ryuichi MASUDA
- P59 **Genetic variation of the Asian black bear (*Ursus thibetanus*) in Yamagata prefecture, northern Japan**
*Reina UNO(Institute for Advanced Bioscience), Naoki OHNISHI, Hideo HIGASHI, Hidetoshi TAMATE
- P60 **Development of technique of sample collection of a hair trap method**
*Yoshiki MORIMITSU(University of Hyogo), Mayumi YOKOYAMA
- P61 **Myrmecophagy by brown bears in Urahoro, eastern Hokkaido, Japan**
Chie AOKI, *Yoshikazu SATO(Nihon University), Mami HISHIYAMA, Kyoko KOBAYASHI
- P62 **Change of sika deer use by brown bears related to the decrease of the number of deer controlled**
Kyoko KOBAYASHI (Nihon Univ.), Yoshikazu SATO, Iri MINAMIYAMA
- P63 **The nutritional value of conifer (*Chamaecyparis obtusa*) vascular tissues for the black bear (*Ursus thibetanus japonicus*)**
*Akimi YAMADA(Univ. of Tsukuba), Masahiro FUJIOKA
- P64 **Long-term trends in food habits of Asiatic black bear in the Misaka Mountain, Japan**
Shinsuke KOIKE (Tokyo Univ. of Agri. and Tech.)
- P65 **An attempt of the brown bear habitat use evaluation on environment including the conifer plantation**
*Hifumi TSURUGA(Hokkaido Institute of Environmental Sciences), Akiko NAGASAKA, Masaaki TOMIZAWA, Masayuki TAKADA
- P66 **The behavioral pattern of Japanese black bear by the GPS telemetry method – A relation with mast seeding in *Fagus crenata* –**
*Isao ARIMOTO (Tokyo University of Agriculture and Technology) , Yusuke GOTO, Chika NAGAI, Kengo FURUBAYASHI
- P67 **Habitat use of the Asiatic black bear (*Ursus thibetanus*) in the Tsurugi Mountains, Shikoku**
*Bungo KANAZAWA (Shikoku Institute of Natural History), Koji YAMASAKI, Toru ITO, Hidenori KUSAKARI

Poster Presentations

- P68 **Current status and policy of the Asiatic black bear management of Hiroshima Prefecture**
*Takeshi FUJII(Hiroshima Prefectural Government), Toru OI
- P69 **Genetic identification of the bears which strip barks from coniferous trees**
Fumi KITAMURA, *Naoki OHNISHI(FFPRI-Kansai), Atsushi TAKAYANAGI
- P70 **Changes in the diurnal activity pattern of the Asiatic black bear (*Ursus thibetanus japonicus*) with distance to urban areas.**
*Mizuki MIZUTANI (Fukui Nature Conservation Center), Masamitsu TADA, Maiko TAKAHATA, Atsushi TAKAYANAGI
- P71 **Age structure of culled Asiatic black bears in Nagano Prefecture characterizing extensive appearances into human habitation in 2006**
Ryosuke KISHIMOTO (Nagano Environmental Conservation Research Institute)
- P72 **Carbon and nitrogen stable isotope ratios of Asiatic black bears in Nagano, 2006**
*Rumiko NAKASHITA(Tokyo Metropolitan University), Shigeyuki IZUMIYAMA, Mitsuaki GOTO, Ryosuke KISHIMOTO, Muneoki YOH, Hidetake HAYASHI
- P73 **Analyses of environmental factors around orchard fields damaged by Japanese black bear, *Ursus thibetanus*, and construction of bear damage hazard map**
*Akira IWAKI (Tokyo University of Agriculture and Technology), Naoaki SHIMADA, Masatoshi YUI
- P74 **Estimation of the minimum number of nuisance black bears using DNA analysis from bear-damaged crops**
*Masae SAITO (Iwate University), Kiyoshi YAMAUCHI, Toshihiko AOI

Room P3

- P75 **Fossil *Diplothrix* sp. From the Pinza-Abu Cave, Miyako Island, the Ryukyu Island, Japan**
*Satoshi KAWAGUCHI(Sanuki C.), Yukibumi KANEKO, Yoshikazu HASEGAWA
- P76 **Age variation of humerus in the lesser Japanese mole, *Mogera imaizumii***
*Yuki HAGA(Nihon University), Masahiro IWASA
- P77 **Local and age variations in the Japanese large field mouse, *Apodemus speciosus***
*Keiki MATSUDA(Nihon Univ.), Masahiro IWASA
- P78 **Numerical Variation of Teeth in the Wild House Musk Shrew *Suncus murinus* Captured from Nagasaki, Japan**
*Takamichi JOGAHARA(Nagoya University, Aichi-Gakuin University), Kazuhiro KOYASU , Tatsushi KAWAI , Hajime HANAMURA , Sen-ichi ODA
- P79 **Masticatory muscle masses and their significances in gerbilline murids**
*Kazuhiko SATOH (Asahi University School of Dentistry), Fumihiko IWAKU

Poster Presentations

- P80 **Geographic variation in skull and tooth morphology of the racoon dog (*Nyctereutes procyonoides*) from Russia and Japan**
*Chie HABA(Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine), Tatsuo OSHIDA, Motoki SASAKI, Hideki ENDO, Hideo ICHIKAWA, Yasushi MASUDA, Alexei ABRAMOV
- P81 **Growth and allometry of sea otter, *Enhydra lutris* : ontogeny, sex-related difference, and comparison with Canadian otter, *Lutra canadensis***
*Kaoru KOHYAMA(Izu Mito Sea Paradise), Masashi KIYOTA, Shiro YONEZAKI, Masayuki NAKAJIMA
- P82 **Tree dimensional imaging analysis of the tarsal joint in chimpanzee (*Pan troglodytes*) and Japanese macaque (*macaca fuscata*)**
*Motoki SASAKI (Obihiro Univ.), Hideki ENDO, Motoharu OISHI, Kazutaka YAMADA, Nobuo KITAMURA
- P83 **Geographical variation in skull morphology of Japanese serow**
*Asuka NATSUME(Japan Monkey Centre), Kazuhiro KOYASU, Sen-ichi ODA
- P84 **Growth Variation in Skull Morphology of Kuril Harbor Seals (*Phoca vitulina stejnegeri*) and Spotted Seals (*Phoca largha*) in Hokkaido**
*Emiko NAKAGAWA (Hokkaido University), Mari KOBAYASHI, Masatsugu SUZUKI, Toshio TSUBOTA
- P85 **An osteometrical study of the skulls of the Florida manatee**
*Osamu HOSON(Nagoya Univ.), Shin-ichiro KAWADA, Tadasu YAMADA, Sen-ichi ODA
- P86 **Assessment of intraspecies genetic structure using the nuclear multigene family, 5SrDNA, evolving under concerted evolution**
*Shunpei P. YASUDA (Hokkaido University), Shusaku MINATO, Kimiyuki TSUCHIYA, Hitoshi SUZUKI
- P87 **Species identification of unknown samples by means of sequences**
*Naoko KUROSE (Kanagawa University), Kazuo UMEZU, Gotoro WATANABE
- P88 **Species and sex determination of carnivores in the Kushiro wetland due to fecal DNA analysis**
*Yukari SHIMATANI(Hokkaido Univ.) Tsuyoshi TAKESHITA, Shirow TATSUZAWA, Toru IKEDA, Ryuichi MASUDA
- P89 **Molecular phylogenetic analyses of Vietnamese moles**
*Akio SHINOHARA,(University of Miyazaki), Shin-ichiro KAWADA, Nguyen Truong SON, Dang Ngoc CAN, Hideki ENDO, Chihiro KOSHIMOTO
- P90 **Population genetic structure of *Apodemus speciosus* in the Izu Islands with a low diversity and specific to each island**
*Reina TAKECHI(Tokyo Metropolitan University), Fumio HAYASHI

Poster Presentations

- P91 **Interspecific variation of mandible shape and nuclear Bmp4 gene sequences in the large Japanese mole (*Mogera wogura*)**
*Takashi KIRIHARA (Hokkaido University), Hitoshi SUZUKI, Tetsuji HOSODA, Kimiyuki TSUCHIYA
- P92 **Development of Microsatellite Markers in the lesser Japanese mole (*Mogera imaizumii*)**
*Chie MURATA(Yamagata Univ.), Kiyotaka SHIBATA, Hidetoshi.B.TAMATE
- P93 **Genetic population of the Japanese macaques (*Macaca fuscata*) in Yamagata prefecture and neighboring region.**
*Hiroko CHIDA(Yamagata University), Hideo HIGASHI, Yoshi KAWAMOTO, Hidetoshi TAMATE
- P94 **The bat fauna of windbreak forest in Ishikari Plain, Hokkaido**
*Kenta ISHII(Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine), Mark A BRAZIL
- P95 **Relationship between species composition and flight activity of three sympatric *Myotis* species**
*Takumi AKASAKA (Hokkaido University), Futoshi NAKAMURA
- P96 **An ecological study on tree-roosting and cave-dwelling bats in Chubu area, central Japan. Chiropteran fauna of Minami Alps National Park and its surrounding areas: Survey results from April 2004 to July 2007**
*Akiyoshi SATO(Almas corp.), Setsuko KATSUTA, Terumasa YAMAMO
- P97 **Does the common Japanese pipistrelle (*Pipistrellus abramus*) prefer urban environment?: density distribution of the common Japanese pipistrelle in Tokyo metropolitan by route census and acoustic survey**
*Yoko ANDO(Tokyo University of Agriculture and Technology), Nobuo KANZAKI
- P98 **Predicting distributions of Konnikov's whiskered bats in Tochigi prefecture**
*Sachiko YASUI, Takashi KAMIJO, Tetsuya MATSUI, Tadakuni NIWA
- P99 **Night behavior and habitat of Japanese long-eared bat in Mt.Kushigata Yamanashi**
*Satoko YOSHIKURA(University of Tsukuba), Makoto ISHIHARA, Yuzo NAKAGAWA
- P100 **Home range and habitat of Natterer's Bat and Long-eared Bat in the breeding season**
*Mitsuru MUKOUYAMA(Association of Bat Conservation of Japan, Non-profit Organization), Ryouichi TSURUMA, Masakatsu ASADA, Nobutaka MAKI, Hiromasa ONIKUBO, Rina SATOU
- P101 **Summer Roost use of Ussurian tube-nosed bats (*Murina ussuriensis*)**
Hirofumi HIRAKAWA (Forestry and Forest Products Research Institute)

Poster Presentations

P102 **Foraging area of Ryukyu tube-nosed bat, *Murima ryukyuama* in Tokunosima Island.**

*T.NAKAYAMA(Nara Univ. of Education) , K.MAEDA, K. NISHII

P103 **Foraging activity of large noctule bat in rural area of Obihiro city, Hokkaido.**

*Masanori TATSUGAMI (Obihiro Univ. of Agriculture and Veterinary Medicine), Hisashi YANAGAWA

P104 **Pattern of delivery of Old-world leaf-nosed bat**

Sumiko MATSUMURA (Yamaguchi Univ)

Room P4

P105 **A comparative study on mammalian fauna with different logging intensities in Sabah, Borneo, Malaysia**

*Go ONOGUCHI(Kyoto University) Takashi MATSUBAYASHI, Kanehiro KITABAYASHI

P106 **A survey of the small mammals in Mt. I-Lau, Yunnan, China**

*Junji MORIBE(Nagoya University), Xuelong JIANG, Lian-Kong LIN, Yu-Cheng CHANG, Shuji KOBAYASHI, Sen-ichi ODA

P107 **Change in the Korean Field mice *Apodemus peninsulae* Movement Patterns Following Forest Road Construction**

*Sung Jin PAKR (Seoul National University), Eun Jae LEE, Woo-Shin LEE, Shin-Jae Rhim, Chris C. MAGUIRE

P108 **Improvement of live trapping method for the Japanese water shrew *Chimarrogale platycephala***

*Ryusuke FUJIMOTO(Tokyo Univ. of Agriculture), Masahiko OKUMOTO, Motokazu ANDO

P109 **Long-term monitoring of body temperature and locomotor activity in large Japanese mole(*Mogera wogura*)**

*Kunihito MOTEKI(Univ. Miyazaki), Atsushi KASHIMURA, Akio SHINOHARA, Kimiyuki TSUCHIYA, Toshihiro TAKAHASHI, Tetsuo MORITA

P110 **Effect of photoperiod on immune function of the grey-sided vole *Clethrionomys rufocanus* under low temperature**

*Kaori KUSUMOTO(Hokkaido Univ.), Takashi AGUI

P111 **Comparison of external and cranial measurements among intra and interspecies of *Apodemus peninsulae* from Hokkaido, Japan**

Yukibumi KANEKO(Sakaide, Kagawa Pref.)

P112 **Top-down effects on a soil ecosystem by the long-clawed shrew**

*Tomoyuki NAMBA(Hokkaido University), Satoshi D.OHDACHI

Poster Presentations

- P113 **Conservation and Creation of the Nesting Site for the Harvest Mouse in the Agricultural Space**
*Takatsuna KURODA(Nihon Univ.), Takashi SHOJI, Mayumi SHIGETA, Kana KOIKE, Takehiko KATSUNO
- P114 **The distances traveled among nests of Siberian flying squirrels in a small wood**
*Yushin ASARI(Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine), Hisashi YANAGAWA
- P115 **Distribution of *Apodemus speciosus* on Miyake Island**
*Manabu YAMAGISHI(Tokyo Univ.Agr.), Shinsuke IIOKA, Hideo OKAMOTO, Motokazu ANDO, Hiroshi OGAWA and Takashi AMANO
- P116 **Distribution of Formosan Squirrel in Yokohama, Kanagawa**
*Yukiko SATO (The Society for the Study of Squirrels in Kanagawa), Tomomi KATAOKA
- P117 **Difference in population response of two wood mice (*Apodemus speciosus* and *A. argenteus*) to a masting event of *Fagus japonica* in Ogawa Research Forest, northeastern Japan**
*Mihoko OKUMURA (Nigata University), Masatoshi YASUDA, Akiko HUKUI, Mitsue SHIBATA, Takashi MASAKI, Hideo MINOGUCHI
- P118 **Building and testing a HIS model of flying squirrels in Obihiro City**
*Noriko KOJIMA(Obihiro Univ. of Agriculture and Veterinary Medicine), Hisashi YANAGAWA, Osamu TSUJI
- P119 **Habitat conditions of small terrestrial mammals in urban areas of Fujisawa, Kanagawa Pref.**
*Akira NISHITSUKA (Nihon Univ.), Masahiro IWASA
- P120 **Individual identification and population size estimation using fecal samples of two wild cats in far east Russia**
*Taro SUGIMOTO(Hokkaido University), Junko NAGATA, Vladimir ARAMILEV, Alexander BELOZOR, Masatake AZUMA, Dale R. MCCULLOUGH
- P121 **Population trend of Malayan flying lemur in a coconut palm plantation in West Java, and its distribution in Java, Indonesia**
*Minoru BABA(Kitakyusyu Museum of Natural History), Kazumitsu KINJO, Atsushi NAKAMOTO, Masako IZAWA, Boedi, Teruo DOI
- P122 **Field survey on Tamaraw (*Bubalus mindorensis*) – Present population size and herd behavior in wild**
*Shinya ISHIHARA (Univ. of Tsukuba), S.MATSUBAYASHI, R.M.BOYLES, R.L.SALAC, A.N. Del BARRIO, L.C. CRUZ, Yukio KANAI

Poster Presentations

- P123 **Attempts to age determination of wild artiodactyl for populatuon management in Zambia**
*Makoto ASANO(Gifu University), Yuka SUZUKI, Victer SIAMDAALA, James MILANZI, Hideto FUKUSHI, Jun YASUDA, Mitsutoshi YOSHIDA, Tadashi ITAGAKI, Aaron MWEENE, Hirohito OGAWA , Masahiro TANI, Nobuyuki MINAMOTO, Toshio TSUBOTA, Masatsugu SUZUKI
- P124 **Population Analysis of Female Feral Raccoons (*Procyon lotor*) in Tanabe City, Wakayama Prefecture**
*Yuka OGATA(Gifu Univ.), Kazuto SUZUKI, Gen ASANO, Toshio TSUBOTA Masatsugu SUZUKI
- P125 **The effects of raccoon dog social structure on trapping rate**
*Yoshikazau SEKI(Utsunomiya Univ.), Masaaki KOGANEZAWA
- P126 **The home range and habitat use and selectin of the Japanese weasel (*Mustela itatsi*) in urban area.**
Masaya OKADA(Nihon Univ.)
- P127 **The effects of past forest landscape on distribution of Japanese hares in urban areas**
*Masayuki SAITO(Yokohama National University), Fumito KOIKE
- P128 **On the techniques to reduce crop damages caused by wildlife**
*Yasuyuki MUROYAMA(University of Hyogo), Nobuyuki KAWAI
- P129 **Taming phenomena of the Japanese macaque at Kanagawa prefecture**
*Tomokazu MURAKAMI (Center for Environmental Studies), Makiko HARA, Motokazu ANDO
- P130 **Roadside guterrs as mammal corridors at suburban and forested areas**
*AtsuhI ABE(Shin-Nippon-Kankyo-Cyosa co.Ltd), Mito KONDO, Mamiko GOTO, Naohumi KANAYAMA, Motokazu ANDO
- P131 **Potentiality of hunting tourism for wildlife management in Tochigi Prefecture; wildlife populations up, hunter populations down**
*Atsuko FUKASAWA (Tokyo Noko University), Nobuo KANZAKI, Tetsuya MARUYAMA, Haruna TODA
- P132 **Relationships among damage, population indicators, protection and environment; selecting indices for integrated wildlife management**
Atsushi TAKAYANAGI (Kyoto University)
- P133 **Retention of the bait marker (Rhodamine B) in mongoose**
*Katushi NAKATA (University of the Ryukyus), Go OGURA, Katsunori SUNAGAWA

Poster Presentations

P134 **Migration of the winter bird raises a fecundity of the invasive mongoose**
(Herpestes javanicus)

*Yuya WATARI (The University of Tokyo), Shintaro ABE, Fumio YAMADA,
Tadashi MIYASHITA

会場(府中キャンパス)への交通



至新宿

懇親会会場 (大国魂神社結婚式場)

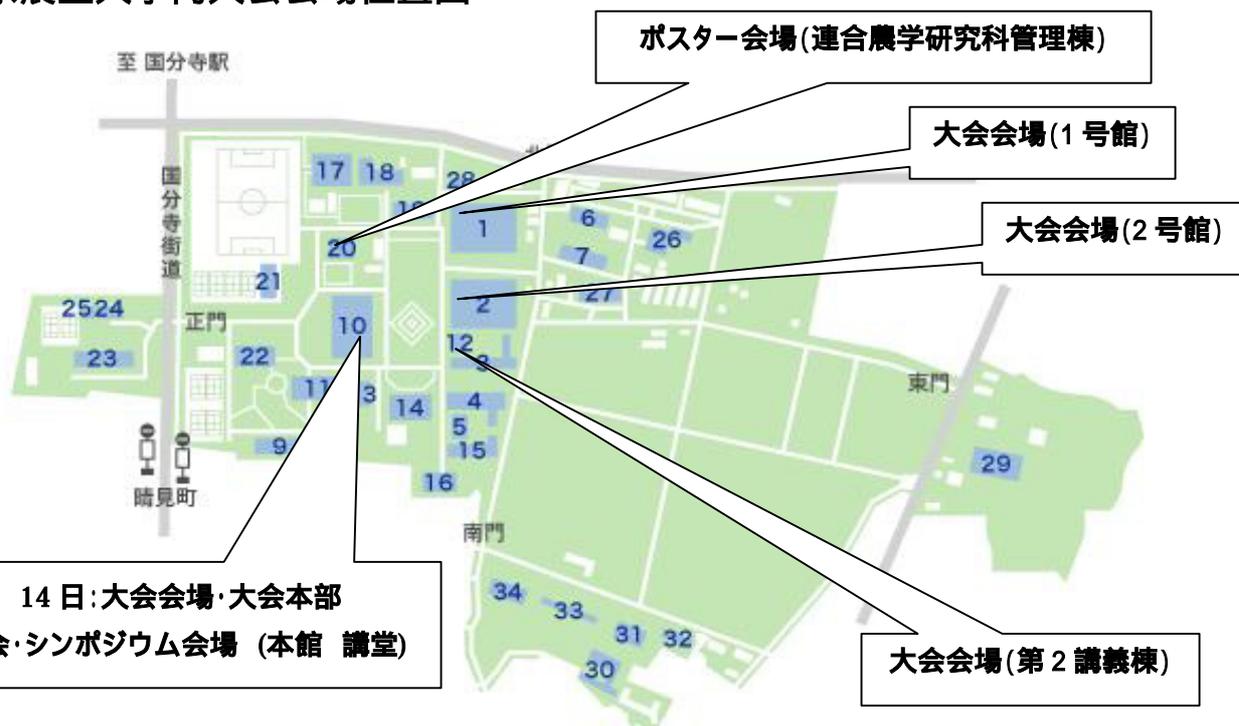
至新宿

JR 中央線国分寺駅南口 2 番乗場 「府中駅行」バス(明星学苑経由) 約 12 分晴見町下車すぐ

京王線府中駅北口バスターミナル 2 番乗場「国分寺駅南口行」バス(明星学苑経由) 約 7 分晴見町下車すぐ

JR 武蔵野線 北府中駅から徒歩約 12 分

東京農工大学内大会会場位置図



ポスター会場(連合農学研究科管理棟)

大会会場(1号館)

大会会場(2号館)

14日:大会会場・大会本部
総会・シンポジウム会場(本館 講堂)

大会会場(第2講義棟)



日本哺乳類学会2007年度大会プログラム

2007年8月4日

編集・発行：日本哺乳類学会2007年度大会実行委員会

梶光一（大会会長），神崎伸夫（事務局長），常田邦彦，武田庄平，甲田菜穂子，鈴木馨，
佐藤俊幸，渡邊泉，江成広斗，金子弥生，岡崎弘幸，小池伸介，角田裕志，西川真理

ロゴデザイン：東郷なりさ

〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8

東京農工大学農学部野生動物保護学研究室

日本哺乳類学会2007年度大会実行委員会

E-mail: mam2007@cc.tuat.ac.jp